

科 類
文科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (74)	10%	この時期は油断していてあまり手を付けていませんでした(最低限長文読解の問題集を解いたりしていただく)。ここでの実力低下が秋模試の成績不振に直結してしまっただけのように思います。	25%	秋の東大模試の失敗がメンタルに響き英語の勉強を始めました。具体的には和訳の問題を得点源にするために構文系の参考書を買って勉強を進め、また英作文はスピードアップと表現の引き出しの拡充のため例文集を購入し暗記を始めました。過去問も解分量を増やしていききました。	15%	過去問に手を付けつつ和訳と英作文の対策を続けて行う程度に留めましたが、反省から必ずある程度の時間は英語に充てることを心がけました。	15%	ある程度秋模試後の勉強のめどが立ってきたため、たまに『25力年』(教社社)で古い年度の問題を解く程度に頻度を抑え実力維持のみ行いつつ、不安な文法事項を参考書を用いて再確認していました。センター試験の過去問はあまり解いていません。	15%	冬休みの延長線上で同じような勉強をしていました。また英語も含めたバックの問題をこの時期に何個か解いて友人と点数を競っていました。	25%	直前期で改めて考えた結果英語を伸ばして安定させたら受かるんじゃないかと思っただけで過去問演習、和訳の参考書をもう一周、また英文記事をざっくり読むことなどをしました。また、リスニングについては『キムタツ』のリスニングSUPER(アルク)とTEDを利用していました。	25%	方法も、かける時間もセンター後はほぼずっと一緒で、東大型をひたすら解いていました。ただ、本番前日に暗記例文集を改めて詰め込んだことで本番は英作文が割合スムーズにできて、他の問題は重大失敗ながらもぎりぎり形になりました。
国語 (63)	15%	この時期は東大特進と学校の授業、そしてその予習復習で現古漢の勉強を済ませていました。それと並行して、毎日少しずつ単語帳等の読み込みによる知識のインプットは行いました。	15%	基本は10月と変わらず、東大特進の授業と学校の授業の予復習に努めました。それに加えて古漢は『25力年』(教社社)を解き進めて知識をベースとした読解と解答に慣れるようにしました。	15%	11月と変わらず。少しずつセンター国語を解き始めました。	40%	センター国語に強い苦手意識があったのでかなり時間を割いてセンター型の問題を解いていました。いかに古漢でのタイムロスが減るかを意識しながら解き進め、点数も逐一まとめるモチベーションを保ちつつ自分の苦手なポイントを確認していました(自分は小説の表現等でのミスが目立っていました)。	35%	変わらずセンター国語の演習を続けていました。またセンター直前期には改めて知識の再確認を行うため古文漢文の単語や文法の知識をチェックしていました。最終的にそれなりの成績を本番でとれたのでこれは正解だったかなと思います。	15%	センターで勉強したおかげでかなり基礎が身につけていたためあまり時間を使わずに済みました。古漢は東大型の問題を解いて、現代文は林修先生の講義の復習を行いました。	10%	センター後の勉強を一貫して行っていました。国語にそれ以上の対策を講じる余裕は僕にはありませんでした。
数学 (58)	40%	好きな科目だったので時間をかけてやっていました。この時期は一通り学習を終え、東大や一橋などの過去問を解きあさった上で、どういった解法が使えるかを実践的に習得しようとしていました。また、週に1回は塾でまた東大特進では本庄隆先生のテストゼミに参加し、実力を試しました。	30%	秋模試が好調だったので、少し勉強量は減りました。演習を基本とした学習は変えなかったものの、模試で完答しきれないことが多かったことを踏まえてあまり時間制限をかけずにじっくり問題に取り組むこと、また復習を丁寧に自分ごとで間違えたか、なぜできなかったのかを追及するようにしました。	20%	数学に関しては掛ける時間を減らし、センターを意識しつつほかの科目に時間を取るようにしました。この時期までは二次型の問題演習を行っていました。	15%	センター試験の過去問は最小限解いて実力を確認しましたが、あまり心配はなかったのもむしろセンターボケを回避するために定期的に二次型の問題を解いたり実際のセットを解いたり、とにかく最低限の実力を残すことに努めました。ただ、それはいいけど限度があるのであまり触れてはいただけませんでした。	20%	12月の勉強に加えて、さすがに心配になってセンター数学を解いていました。ただ精神的に優先順位は低かったです。	25%	やはり多少センターボケしていたのでひたすら問題を解きまくりました。ここで多少実力を持ち直し東大本番レベル模試はそれなりの成績になりました。	25%	この時期は問題を解く量を減らし、今までに行った相当量の問題をひたすら解きなおしていました。今思うとここで計算量が不足し本番失敗したのでやはり新規の問題に取り組む訓練は欠かせないのが望ましいです。
世界史 (35)	20%	通史を終わらせるのが非常に遅く、この時期まで通史の学習が続いていました。それと並行して毎日『世界史B一問一答』(東進ブックス)を読み、通史と並行して知識を詰めようとしていました。	15%	通史が終わり満足してしまい、勉強量は減りました。この時期は教科書や一問一答をさらに読み込んで知識を増やそうとする程度にとどめていました。	25%	センター世界史の過去問を解いて自分の知識が最低限備わっているか確認していました。また苦手と感じる分野を集中的に資料集や一問一答でつづき勉強も取り入れました。この時期からセンターまではインプットがベースです。	15%	世界史は二次前に知識をひたすら詰め込む絶好の機会ととらえてひたすら一問一答を読み込んだり、資料集で改めて知識を整理するなど、12月は一貫して同じ方法で勉強を進めていました。ここで知識をあらかた詰めたおかげで二次試験前は強気で論述対策に注力することができました。	20%	12月とやっていることはほとんど変わっていませんでした。分量は少し増やしました。ひたすら詰め込みをする修行みたいな勉強をしていました。	15%	数学と地理、英語に時間を使っていたため世界史に手が回らず。小論述の最後の練習は始めましたが本格化したのは2月からでした。	20%	ひたすら小論述と一問一答に力をそそいでいました。大論述は今からやっても変わらなさそうだったので、30分ほどの問題を消化して、その都度知識を再確認しました。また、文化史はこの時期に詰め込みました。
地理 (36)	15%	知識の拡充を目的として東大特進の高橋和明先生のテキストや学校で配付された資料を多く読んでいました。それと並行して、少しずつではありますが過去問を解き始めて論述の対策も始めました。	15%	基本的な学習スタイルは10月と変わらず。知識の完成度を確かめるためセンター地理も演習量を増やし、過去問と並行して行いました。	25%	センター地理の演習量を少しずつ増やしました。本の読み込みは変わらずに行いつつセンターに向けた総仕上げを始める段階にありました。	15%	センター型の問題を、過去問含めひたすら解いていました。また問題を解いていてわからなかった分野の知識は改めて詰める、という勉強を繰り返していました。この時期は論述に手を回している余裕はなかったです。	10%	冬休みと変わらない勉強をしてはいましたが、量を減らしました。結果これがセンターの失敗につながりました。	20%	センターがまずかったのでかなり時間をかけて勉強しました。具体的には論述問題を扱う参考書を1周し、また東大特進のテキストも数日で1周。ここで多少力を持ち直しました。	20%	東大型の過去問を解いて、解説を見ながら書き直してを繰り返しました。また京大などほかの学校の最新年度の問題にも手を出してアウトプットの練習をしていました(最終的には足りませんでした)。こちらはこの時期でのべ15年分ほど解いたと思います。

センター	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	3 : 7	【センター:二次】	8 : 2	【センター:二次】	9 : 1
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
文科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (92)	25%	硬い文章に慣れようと思い、『標準問題精講』(旺文社)の1周目をしました。	30%	『標準問題精講』(旺文社)に引き続き取り組みながら、『スクランブル英文法・語法』(旺文社)に目を通し、基礎事項に漏れが無いようにしました。	15%	『標準問題精講』(旺文社)の2周目をしました。	10%	苦手だった要旨要約問題の経験値を増やすため、『英文要旨要約問題の解法』(駿台受験シリーズ)を1周しました。	10%	『スクランブル英文法・語法』(旺文社)で基礎事項を最終確認しつつ、過去問を5年分程度取り組みました。	5%	2次試験の過去問をやらなければいけないと分かりつつ、他の教科の勉強があり、ほとんど手を付けることができませんでした。	5%	1月と状況は変わらず、焦燥感が募るばかりでした。ただ、直前期に東大特進の直前テストを受講し、最終チェックをしました。
国語 (68)	15%	夏に覚えた古文単語と句形を忘れないように、『重要古文単語315』(桐原書店)と『漢文必携』(京都書房)に定期的に目を通していました。問題演習は学校の演習だけでした。同時並行で林修先生の現代文の授業を受けていました。	10%	左に同じです。	10%	『25カ年』(教学社)で2000年以前の東大の過去問を15年分程度解き、実戦経験を増やしました。	30%	古文漢文は解きなれることが必要だと思い、『古文上達』(Z会出版)と『古文道場』(Z会出版)を1周し、自信をつけました。現代文は林修先生の授業を引き続き受講し、現代文に対する感覚を鈍らせないようにしました。	30%	センター形式の問題に慣れるため、センターの本試と追試(本試よりも少し難しい)の過去問を10年分程度こなしました。	10%	『25カ年』(教学社)で2000年以降の東大の過去問を解き、近年の傾向を掴むとともに記述型の問題に対する動きを取り戻していきました。	10%	現代文・古文漢文ともに東大特進の直前テストを受講し、2次試験への最終調整を行いました。
数学 (70)	20%	学校の演習をメインに、夏に1周した『1対1対応の演習』(東京出版)の復習をしていました。	30%	夏秋で蓄えた解法を実際に使ってみるために、『文系数学の良問プラチカ』(河合出版)を1周しました。	30%	左に同じです。	20%	解くスピードが要求されるセンター数学で高得点を取るために、センター型の模試の過去問に取り組み、なるべく速く解けるようになりました。	20%	センター過去問5年分に取り組み、解く順番や詰まったときの対処法を最終チェックしました。	25%	いわゆる赤本で過去問25年分を遡り、問題の傾向や頻出の分野を確認しました。	25%	塾の直前講習をいくつか受講し、数をこなすことで本番に対する不安を取り除きました。
日本史 (34)	25%	学校の授業に軸足を置きつつ、『考える』日本史論述』(河合出版)に取り組み、論述に慣れるようにしました。	20%	左に挙げた参考書に加え、『日本史論述研究』(駿台文庫)にも取り組み、さらなる論述力アップを目指しました。またセンター型の模試の過去問を解き、知識の定着度を確認しました。	25%	左に同じです。また『ハンドブック日本史の要点整理』(学研教育出版)でこまめに基礎事項を確認するようにしました。	15%	教科書を音読し、知識の漏れがないか確認をしました。	20%	センター形式の問題に慣れるため、センターの本試と追試(本試よりも少し難しい)の過去問を10年分程度こなしました。	30%	過去問40年分をチェックし、抜けている知識があれば教科書やこれまでにあげた参考書で確認するという作業を繰り返しました。	30%	過去問40年分をチェックし、抜けている知識があれば教科書やこれまでに挙げた参考書で確認するという作業を繰り返しました。
地理 (36)	15%	『センター地理B 超重要問題の解き方』(中経出版)に取り組み、基礎事項の総復習をしました。またセンター型の模試の過去問を解き、知識の定着度を確認しました。	10%	『実力をつける地理100題』(Z会出版)に取り組み、論述形式に慣れるようにしました。	20%	『納得できる地理論述』(河合出版)に取り組み、さらなる論述力アップを目指しました。	25%	学校の直前講習で配られた教材をメインに取り組みつつ、『地理の研究』(帝国書院)や『新編 詳解地理B』(二宮書店)などで基礎事項を確認しました。	20%	センター形式の問題に慣れるため、センターの本試と追試(本試よりも少し難しい)の過去問を10年分程度こなしました。	30%	地理は最新のデータや知識が重要だと考え、過去問には取り組みず、これまでに取り組んだ参考書や問題の総復習をしていました。	30%	地理は最新のデータや知識が重要だと考え、過去問には取り組みず、これまでに取り組んだ参考書や問題の総復習をしていました。

センター	【センター:二次】	2 : 8	【センター:二次】	2 : 8	【センター:二次】	2 : 8	【センター:二次】	5 : 5	【センター:二次】	8 : 2
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類

文科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (82)	5%	『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)を用いて1日10分程度、毎日単語の確認を行いました。『キムタツの東大英語リスニング』(アルク)を用いて、リスニングも毎日継続しました。また、読解のスピードを落とさないうちに、『25か年』(教学社)の長文を1日1題ずつ解きました。英語は毎日触れることが肝心です。	5%	10月と同様です。	5%	10月と同様です。	5%	10月と同様です。	5%	発音とアクセントの問題に限り、センター過去問をやりました。英単語の確認は引き続き行いました。	10%	英単語の確認は引き続き行いました。過去問や過去の模試を用いて英文作りに1日1題取り組み、学校の先生に添削してもらいました。自分では気づかないミスを発見してもらえたり、うまい表現法を教えてもらえたりするので、書いた後は添削してもらおうと良いです。	5%	1月と同様ですが、加えて1日1セット、東大模試の過去問をやって、時間配分の確認をしていました。
国語 (70)	5%	現代文は東大特進の林修先生の授業で対策しました。古文は、『重要古文単語315』(桐原書店)を用いて、1日10分程度、毎日古文単語の確認を行いました。漢文は特にやりませんでした。	5%	10月と同様です。	5%	10月と同様です。	10%	現代文、古文、漢文全て1日1年分ずつセンターの過去問をやりました。古文単語の確認は引き続き行いました。漢文は学校の教材を用いて、重要句法の確認を行いました。	5%	12月と同様です。センター前日に、出題されたことがある漢字、慣用句を全て確認し直しました。	5%	現代文、古文、漢文全て1日1年分ずつ過去問をやりました。現代文は東大特進のテキストを使用しました。論理の貫通、対比構造、因果関係を特に意識して取り組みました。	5%	1月と同様です。
数学 (42)	5%	学校の教材『スタンダード・オリジナル』(数研出版)を用いて、1日3題程度、演習を行っていました。この時期は地歴(主に日本史)に追われ、数学にはあまり時間を割けませんでした。	5%	10月と同様です。	35%	最後にもう一度基礎を確認しようと思い、『大学への数学 1対1対応の演習』(東京出版)を全て解き直しました。演習ばかり行っているうちに忘れていた基礎事項の確認ができると同時に、計算のスピードも上がり、センター、二次双方の対策になりました。	10%	どうしたら計算が速くなるか、を意識しつつセンター向けの問題集をやりました。	5%	苦手な分野に絞り、時間を計ってセンター過去問をやりました。1年分ずつやるより、分野別にやった方が効果的だと思います。	20%	過去問を一通りやりました。間違えた問題は、二週目をやりました。東大の数学は出題パターンが決まっているので、過去問演習が重要です。	0%	日本史に時間を取られたため、数学をやる時間はありませんでした。しかし、長期間数学に触れていなかったことに対し、本番前日になって焦りが出て、非常に後悔しました。やはり、数学には毎日触れるべきです。
日本史 (40)	80%	『25か年』(教学社)をひたすら解いていました。1題解き終わる度に、教科書や『日本史講義 時代の特徴と展開』(駿台文庫)の該当箇所を熟読し、ポイントをノートにまとめていました。上記の参考書は、個々の事象や因果関係について深く理解することができるので、オススメです。	80%	10月と同様です。	50%	過去問演習の比重を減らし、センター対策として、学校の授業プリントを用いて文化史の暗記を始めました。	50%	センター過去問をひたすら解き、間違えた問題は教科書の該当箇所を熟読しました。ただ問題を解くだけではなく、教科書を熟読することで、二次対策にもつながりました。文化史の暗記は継続していました。	60%	12月と同様です。	40%	10月と同様です。	80%	『25か年』の2周目を行いました。また、さらに15年分の過去問については、解く時間がなかったので解答と解説にざっと目を通しました。教科書の熟読は最後まで継続しました。本番の前日は、自分でポイントをまとめたノートを見て見直しました。
地理 (32)	5%	『村瀬の地理Bをはじめからていねいに』(東進ブックス)を隙間時間に読んでいました。	5%	10月と同様です。	5%	『地理の研究』(帝国書院)を毎日少しずつ読みました。重要だと思ふ事項にはマーカーを引きながら読み進めました。分量が多くて大変でしたが、この資料集はセンター、二次双方の対策に非常に役に立ちました。	25%	引き続き、『地理の研究』(帝国書院)を読み進めました。また、センター対策として『地理B 統計・データの読み方』(面白いほどわかる本)(中経出版)を用いて、主要なデータを暗記しました。	25%	12月と同様ですが、加えてセンター過去問も10分程度やりました。それ以上遡ると、統計が異なってしまうので、やる必要はないと思います。	25%	過去問を1日1年分ずつ、10分程度やりました。	10%	論述用の問題集を1冊やりました。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	3 : 7	【センター：二次】	8 : 2	【センター：二次】	10 : 0
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	--------

科 類

文科一類

二次 科目	5科目 に対する学習 割合	10月	5科目 に対する学習 割合	11月	5科目 に対する学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する学習 割合	2月
英語 (84)	10%	週に1回塾にいらしていた以外は特に何もしていませんでした。	10%	左と同じです。また、学校でセンターの発音・アクセント問題の対策をしてくれたので、それをこなしました。	10%	左と同じです。	5%	左と同じです。	1%	センター模試で満点近く取れていたのに特にセンター対策はしませんでした。センター2日前に昨年分の過去問をときました。	3%	インフルエンザにかかり勉強時間が少なかったため、英語はほとんど対策しませんでした。塾の直前講座には参加しました。	5%	過去問3年分ほどと、東進の東大本番レベル模試の問題を2回分やりましたが十分ではなかったように思います。
国語 (71)	15%	現代文は林修先生の授業で対策しました。古文は単語がなかなか覚えられなかったため、秋の東大模試に向けて友達と範囲を決めて問題を出し合うなどして覚えました。漢文は学校で配られた句型・単語プリントを覚え、学校のワークをやりました。	15%	古漢のセンターの過去問を少しずつやり始めました。	15%	左と同じです。	15%	最後の機会だと思い、文法と句形の総復習をしました。センターの過去問を解きました。	15%	古漢は予想問題などを用いてセンターの勉強をしました。現代文もセンターの過去問をやりました。	17%	古文は『漆原慎太郎の 古文・記述問題が面白いほどとけるスペシャルレクチャー』(中経出版)、漢文は『最強の漢文』(Z会出版)を使って記述対策を行いました。過去問は『鉄緑会東大古典問題集』(角川学芸出版)を使っていました。	15%	古漢は過去問をやりました。現代文は直前に林修先生の授業で学んだことを確認しました。
数学 (23)	25%	塾の定石をまとめたテキスト・問題集を復習しながら、過去問に取り掛かりました。年度ごとに解き、解説は『東大数学で1点でも多く取る方法 文系編』(東京出版)を使いました。	25%	左と同じです。	25%	左と同じです。	20%	解いた過去問の復習を行いました。センターの過去問も数IAと数IIBを交互に毎日解きました。IAは予想問題集を使いました。	20%	左と同じです。	20%	まだ解いていない過去問を解きました。	20%	過去問と模試の復習を行いました。
世界史 (40)	25%	通っていた東進衛星予備校で10回にわたる短答のテストがあったので、それに合わせて毎週範囲の教科書と一問一答をやって知識を固めていきました。論述・過去問はずっと荒巻豊志先生の授業に頼っていました。	25%	左と同じです。過去問の第二問・第三問をセットで何年分か解きました。	25%	知識を再確認するために『書き込み教科書 詳説世界史B』(山川出版社)を始めましたが挫折しました。	30%	過去問を1日1年分解き、わからないところを資料集で確認などしました。	25%	過去問を解くと同時に、『時代と流れで覚える！世界史B用語』(文英堂)で知識の最終確認を行いました。	30%	東京出版の教科書を一周しました。過去問の第二問・第三問をセットで解きました。	30%	荒巻豊志先生のテキストで過去問をやりました。『世界史論述帳new』(バレード出版)の基本60字で第二問対策をしました。一問一答も1周しました。
日本史 (39)	25%	『詳説日本史ガイドブック』(山川出版)を使い、近現代の流れを頭に入れました。たまに『日本史講義2時代の特徴と展開』(駿台文庫)を読みました。	25%	引き続き近現代をやりました。過去問もやり始めました。いくつかの解答を参照して、ポイントをまとめる作業を行いました。(まだ知識が頭に入らなかったため時間がかかりました)	25%	左と同じです。	30%	『書き込み教科書 詳説日本史B』(山川出版社)を1周しました。そのあと、過去問を解きました。	25%	『時代と流れで覚える！日本史B用語』(文英堂)を用いて用語を覚えましたが、図や表をまとめてあつてわかりやすかったです。	30%	『詳説日本史ガイドブック』(山川出版社)で全範囲を1周しました。その後過去問を2007年より前の過去問を時代ごとにひたすら解いて要点をまとめました。	30%	最近の10年分の過去問を年ごとに時間を計って解きました。それらの復習や、論述の基本を確認しました。

センター	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	2 : 8	【センター：二次】	6 : 4	【センター：二次】	10 : 0
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	--------

科 類
文科一類

二次 科目	5科目 に対する学習 割合	10月	5科目 に対する学習 割合	11月	5科目 に対する学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する学習 割合	2月
英語 (86)	30%	英語には苦手意識があったため、塾の教材を中心に、時間を割いて学習しました。問題演習の機会には恵まれていたため、自宅で過去問に触れることはせず、問題類型ごとのストラテジーの確立に努めました。リスニングは、『キムタツの東大英語リスニング』(アルク)に週3～4回取り組みました。音読・ディクテーションも試みました。	20%	10月と同じ。ただ、他科目へ割く時間を増やしました。11月の秋の東大模試のリスニングはそこそこ良く、継続して学習を続けました。	20%	10月と同じ。	25%	ようやく過去問に手を出し始めましたが、直前期に新しいものを残そうとして古い年度のものを中心に取り組みました。通常の教材も継続しました。	15%	二次対策で週2回程度過去問をやるのみでした。センター対策はほとんどしませんでした。	30%	過去問とその直しを、センター後に15年分ほどこなしました。リスニングについては、過去問に加えて『鉄緑会東大英語リスニング』(角川学芸出版)に取り組みました。特に、2000年代のリスニングは易しめなので、『鉄緑会東大英語リスニング』(角川学芸出版)で差し替えて学習するなどしました。しかし、センター前の2週間ほどリスニングから遠ざかっていたため、復調に長時間を要しました。	35%	1月(センター試験後)と同じ。直前になるにつれ演習量が多くなるように計画しました。
国語 (65)	10%	『漆原慎太郎の古文・記述問題が面白いほどとけるスペシャルレクチャー』(中経出版)を夏ごろからじっくりと進めてきましたが、問題演習という形では一切の学習をしてこなかったため、取り組む問題集を探し始めました。『得点奪取 古文』(河合出版)シリーズに決めました。現代文は林修先生の授業を受けて学習していました。	15%	『得点奪取 古文』(河合出版)にこつこつ取り組みはじめてました。ようやく国語の受験対策をしっかりとらえた、という感じです。	15%	11月と同じ。	15%	11月と同じ。	30%	センター対策に明け暮れました。古典は毎日、現代文は2日に1度のペースで取り組み、本番へ向け調子を整えました。	15%	『鉄緑会東大古典問題集』(角川学芸出版)に取り組みました。非常に詳しく解説がなされており、1年分をがつつり取り組むのに時間がかかったため、すべてをやりきることはできませんでした。	10%	1月(センター試験後)と同じ。古文単語は直前期まで確認しました。
数学 (80)	15%	塾のカリキュラムに沿って学習しました。文系数学は得意であったため、最低限の学習時間で受験対策を行いました。	10%	10月と同じ。	5%	10月と同じ。	5%	10月と同じ。	0%	無し。	5%	10月と同じ。	5%	直前になるにつれ演習量が多くなるように計画しました。過去問は近年の中で難しかった年だけ取り組みました。
世界史 (30)	25%	この頃は、論述の学習をする際の参考書選びに迷走していました。あまり効果的な第二問対策はできずに終わってしまいました。荒巻豊志先生の授業の予習復習はしっかり取り組みました。	25%	10月と同じですが、一応自分に合う参考書を発見しました。しかし、第二問対策としては不十分だった感があります。下旬ごろから教科書を読み込み始めました。東京書籍がおすすです。	30%	教科書の熟読にほぼ専念しました。読み進める中で知識確認も並行して行いました。	25%	教科書の熟読を一巡し、教科書で目にとまった部分、荒巻豊志先生の授業のノートの情報を全て当時愛用していた参考書に一元化し整理するという学習をしました。	25%	二次対策としては12月と同じ。センター対策はほとんどしませんでした。年代のまとめと文化のまとめのみ直前期に行いました。	25%	過去問もやりつつ、センター前に作り上げた参考書の確認もしつつ、といったところです。年代についてはもう一度確認をしました。	25%	1月(センター試験後)と同じ。
地理 (38)	20%	地理の模試成績が非常に伸び悩んでいた時期。何をどう学習すればよいかよく分からなくなりました。	30%	これまでに塾で扱った問題を一題ずつじっくり吟味・復習してフローチャートを作成し、論述のリズムを身に付けるという学習を本格化しました。これにより実力が向上したように思います。	30%	11月と同じ。	30%	二次対策としては11月と同じ。センター試験対策の教材に取り組み始めました。地理はセンター対策と二次対策の毛色が異なるため、別で対策を行うのが吉だと思います。	30%	センター対策にかなり割きました。1日に平均して2年分ほどの問題数をこなす、真の直前期には地図帳や資料集を一読しました。	25%	未習の過去問に取り組みました。解答をしっかりと文字に起こして書いてみて採点も行い、抜けをその都度チェックしました。フローチャート集や地図帳・資料集にもよく触れました。	25%	1月(センター試験後)と同じ。

センター	【センター：二次】	0.5 : 9.5	【センター：二次】	0.5 : 9.5	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	3 : 7	【センター：二次】	8 : 2
------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類

文科一類

二次科目	5科目に対する学習割合	10月	5科目に対する学習割合	11月	5科目に対する学習割合	12月 (～冬休み前)	5科目に対する学習割合	12月 (冬休み)	5科目に対する学習割合	1月 (センター試験前)	5科目に対する学習割合	1月 (センター試験後)	5科目に対する学習割合	2月
英語 (74)	15%	塾の授業の予習・復習を中心に勉強していました。授業では、東大の問題演習をしていました。過去問は、1～2週間に1回、時間を計って1年分解いていました。『鉄緑会 東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)を電車の中で見ていました。	15%	左に同じです。	15%	塾のレギュラーの授業が終わり、過去問を週に1年分時間をはかって取り組んでいました。取り組んだ過去問は採点してもらい、返却された答案から自分のし易いミスや、苦手な大問を分析し、それを克服すべく『25か年』(教学社)に大問ごとに取り組んでいました。	2%	センター教科の中で、唯一英語だけは自信があったので、この時期はほとんど英語に取り組んでいません。冬期講習(二次対策)の復習と、1日に5分程度英語の音声聞き流していた程度です。	2%	左に同じです。英語のセンター試験の過去問は、前日に1年分のみ解きました。	10%	2日に1年分、時間を計って過去問、または東大の模試の過去問を解いていました。その他、毎日英語の音声を何かしら聞くように意識していました。	10%	左に同じです。これは他の教科にも言えますが、センター試験後の期間を一括りにして考えていたので、センター試験後の1月と2月で取り組むことは変わらなかったです。
国語 (72)	5%	林修先生の授業と学校での授業のみでした。古文の単語帳は、電車の中で眺めていました。	5%	左に同じです。	5%	左に同じです。	10%	週に1.2年分程度のペースでセンター試験の過去問に時間を計って取り組み、その復習をしていました。	28%	直近10年分のセンター試験の過去問のうち、やり残していたものに取り組みました。	15%	第1問対策として林修先生の授業で扱った問題をもう1度自分で解き直していました。第4問は、林修先生の授業で配付された解答例を参考に過去問に取り組みました。第2問、第3問は得意だったので、1週間に1.2年分程度過去問に取り組むほか特に対策は行なっていません。	15%	左に同じです。
数学 (41)	40%	通っていた塾の予習・復習を中心に勉強していました。塾の授業は東大の問題の演習でした。過去問にはまだ触れていなかったです。	40%	左に同じです。	40%	通っていた塾のレギュラー授業が終わり、塾のテキストの復習をしていました。	50%	センター数学がとて苦手だったので、センターの過去問やセンター模試の過去問をとにかく大量に時間を計って解きました。	40%	左に同じです。最終的に、赤本に載っているセンター試験の過去問は範囲外のもの以外はほとんど解きました。	25%	塾のテキストの復習をひたすらやっていました。過去問には週に1、2回程度取り組んでいました。最終的に解いた過去問は7年分程度でした。過去問も、解いてしばらく経ってからもう一度解き直しをやっていました。	25%	左に同じです。
世界史 (38)	25%	塾のペースに合わせて、通史(近代付近)を学習していました。論述対策は、夏休み中に、直近30年分の過去問のうち、古代～中世の範囲の問題を塾で扱った以外は、この時点では触れていませんでした。	25%	左に同じです。	25%	一周し終わった通史の復習をしていました。論述対策は特に行っていませんでした。	25%	塾の冬期講習で、二次試験の直近30年分の過去問のうち、近世～近代の過去問に取り組みました。そのほか、週に1.2年分のペースで、センター試験の過去問に取り組みました。	15%	センター試験の過去問に取り組み、知識の穴を見つけ次第、確認して埋めていました。最終的にセンター試験の過去問は10年分くらい取り組みました。	25%	塾でそれまでに扱った直近30年分の過去問をひたすら解き直していました。最終的に3周しました。解き直す際は、文章化はせずに、解答に必要な要素を要求されている論理に並べられているかを確認する形でやっていました。	25%	左に同じです。
日本史 (36)	15%	近現代の通史を学習していました。論述対策は、塾の講義で扱った過去問に取り組み以外は特におこなっていませんでした。	15%	左に同じです。	15%	古代中世の二次試験の過去問に取り組み始めました。その傍ら、センター対策として一問一答に取り組んでいました。	13%	近世近代の二次試験の過去問に少し取り組みました。週に1、2年分のペースでセンター試験の過去問に取り組みました。	15%	上の世界史に同じです。	25%	それまでに取り組んでいなかった過去問に取り組みました。時代は、古代～近代までまんべんなく取り組んでいました。最終的に取り組んだ過去問の年数は20年分程度です。過去問で得た新たな知識などは、自分がずっと使ってきた教科書や参考書に逐一書き込んでいました。	25%	左に同じです。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0.5 : 9.5	【センター：二次】	8 : 2	【センター：二次】	9.5 : 0.5
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-----------	-----------	-------	-----------	-----------

科 類
文科二類

二次 科目	5科目 に対する学習 割合	10月	5科目 に対する学習 割合	11月	5科目 に対する学習 割合	12月 (～冬休前)	5科目 に対する学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する学習 割合	2月
英語 (96)	5%	ほとんど完成状態だったので、単語帳を定期的に見て確認していました。	5%	10月と変わりませんでした。	5%	11月と変わりませんでした。	5%	冬休み前と変わりませんでした。	5%	単語帳の確認に加えて、センターの過去問を何年分か解きました。	5%	難しい長文に対する耐性を付け直すために二次試験の過去問を少しやりました。	5%	1月と変わりませんでした。
国語 (44)	10%	現代文は秋以降の林修先生の授業の復習をしていました。古典は『鉄緑会東大古典問題集(角川学芸出版)』を使い、過去問演習を始めていました。また古文単語や漢文の句法、古典常識などのインプットも行っていました。	10%	10月と変わりませんでした。	15%	古典は一通り二次試験の過去問を終え、林修先生の講座で現代文の過去問も大部分を終えたので、早めではあるもののセンター試験の過去問を少しずつ解き始めました。	15%	センターの過去問をしっかりとやりつつ、林修先生の講座の予習・受講・復習を通して二次試験の勘をにぶらせないようにしていました。	20%	センターの過去問を中心に勉強していました。	10%	古典の過去問の復習をやりつつ定期的に現代文と古典のセットで過去問をやりました。	10%	1月と変わりませんでした。
数学 (68)	40%	『文系数学の良問プラチカ数学ⅠAⅡB(河合出版)』を10月の半ばくらいに2周＋間違えたところをもう1周終えて完成させたので、10月の半ばから『鉄緑会東大数学問題集(角川学芸出版)』で過去問演習をして自分で解説・採点基準を見て採点しつつ復習しました。	35%	先述の過去問集を10月の半ばくらいに終えて、『東大数学で1点でも多く取る方法 文系編』(東京出版)を用いて分野別の過去問演習を行っていました。また苦手分野が少しだけあったので、その基礎的な問題を復習がてらさつとやりました。	35%	他の参考書を全て終えたので『東大数学で1点でも多く取る方法 文系編』(東京出版)を本格的にやっていました。	30%	冬休み前と変わりませんでしたでしたが少しペースを落としました。	15%	センターの過去問を中心に勉強して、3年連続で満点が取れるまでⅠAⅡB両方の過去問を続けました。	30%	『東大数学で1点でも多く取る方法 文系編』(東京出版)を使いながら二次試験の数学の勘を取り戻す作業をしていました。	30%	1月と変わりませんでした。
世界史 (29)	30%	一応通史を夏の間を終えたもののまだ知識があやふやだったので教科書や空欄補充系の参考書などを使ってインプット作業をしていました。また10月後半に多少の余裕が出てきたので過去問を使って第二問や第三問などの知識を問われるタイプの過去問の演習を行っていました。	35%	通史のインプットがだいぶ進んできたので本格的に第二問・第三問演習を始めました。また学校の先生に添削をお願いしつつ第一問の演習も少しずつ始めました。	35%	11月と変わりませんでした。	35%	二次演習がだいぶ進んでいたのが改めて教科書や空欄補充系の参考書を見て復習をしました。またセンターの過去問も解き始めました。	30%	センターの過去問をひたすらやっていました。	30%	第二問や第三問などの知識が重要となる部分を重点的に過去問演習をしていました。	30%	1月と変わりませんでした。
地理 (36)	15%	春から学校の方で相当量の論述練習をこなしており、ある程度の基礎はついていたので引き続き、学校の添削を中心にやりつつ『村瀬の地理Bをはじめからていねいに』(東進ブックス)でインプットを行っていました。	15%	10月と変わりませんでした。	10%	11月と変わりませんでした。	15%	論述練習がかなり進んでいたのが多少のブレーキをかけてセンターにシフトを始めました。センターは先述の参考書と過去問を通して対策しました。	30%	センターの過去問をひたすらやっていました。	25%	二次試験の勘を取り戻すために論述演習をしっかりやりました。	25%	1月と変わりませんでした。

センター	【センター：二次】	0:10	【センター：二次】	0:10	【センター：二次】	1:9	【センター：二次】	6:4	【センター：二次】	8:2
------	-----------	------	-----------	------	-----------	-----	-----------	-----	-----------	-----

科 類

文科二類

二次 科目	5科目 に対する学習 割合	10月	5科目 に対する学習 割合	11月	5科目 に対する学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する学習 割合	2月
英語 (74)	5%	秋は、夏休みに進められなかった英単語帳を進めるだけでした。時間があるときに苦手だった段落整序や要約を『25か年』(教学社)で練習するくらいでした。	5%	10月と同じです。	5%	10月と同じです。	20%	二次試験の過去問をほとんどやっていなかったため、時間を計りながらの演習を始めました。	15%	全くセンター英語をやっていないだったので、1日に1年分を目安に解き始めました。また、私大の過去問も進めました。	20%	二次の問題は解き終えてしまったので、東大本番レベル模試の過去問やその他東大模試の過去問題集を利用していました。毎日スニングは欠かさずに、既にやった問題を聞き取りの練習に使ったり、『キムタツの東大英語リスニング』(アルク)をシャドーイングしたりしました。	20%	センター試験後と同じです。
国語 (75)	10%	現代文は東大特進の林修先生の授業の予習復習をしていました。古典は、過去問にほとんど手を付けていなかったため、少しずつ始めました。	10%	10月と同じです。	10%	10月と同じです。	20%	センターの問題が苦手だったので、時間内に解く練習をひたすらしていました。時間がまとまって取れないときには古典と現代文を別に時間を決めて解くなどしました。また、解く問題の順番を最終的に決めました。	10%	とにかく過去問を遊りました。東大模試の過去問題集もやり始めましたが、現代文はとぼして古典の問題の利用しました。	10%	東大本番レベル模試の過去問を時間があるときに進めていました。	15%	現代文は林修先生の授業で扱った過去問をもう一度解いて解答を作り、配布されたプリントを見ながら解答の要素が抜けていないか、読み方が間違っていないか確認しました。古典は、『25か年』(教学社)をやり始め、入試前日に解き終わりました。
数学 (52)	25%	週1で塾に通っていたので、その予習復習をしていました。夏に始めた『文系数学の良問プラチカ—数学Ⅰ・A・Ⅱ・B』(河合出版)の間違えた問題の解き直しや、『25か年』(教学社)で大問ごとの演習をしました。	25%	10月と同じです。	30%	10月と同じです。	20%	センターの過去問を解き始めました。また、私大の過去問を解き始めました。二次対策は、塾の教材の復習をしていました。	35%	センターの過去問を追試も含めほとんど解き終えてしまったにもかかわらず、ⅡBで時間が足りないなど不安があったので、センターの予想問題集をひたすらに解きました。	25%	東大本番レベル模試の過去問を毎日1年分は解くようにしていました。『25か年』(教学社)で単元ごとに間違えていた問題を解き直したりしました。	25%	東大模試の過去問題集や近年5年分くらい(の)過去問を解きました。40点を確実に取れるように、本番を想定して問題を取捨選択する練習をしました。
世界史 (48)	40%	学校の授業はまだ通史が終わっていませんでしたので、その暗記と並行して、荒巻豊志先生の授業で扱った東大の過去問を復習しました。また、穴埋め形式の『書き込み教科書 詳説世界史世界史B』(山川出版社)をやっていました。	40%	10月と同じです。また、『詳説世界史論述問題集』(山川出版社)を購入して解きました。少し難しかったので、解説を読むのを重視しました。	35%	定期考査に合わせて、戦後史の暗記の穴を埋めていました。そのあとはセンターの過去問に移りました。同時に、教科書を古代から復習し直しました。	20%	センター試験の過去問を解いて、間違えなかった問題の解説も読んで、曖昧な知識だったところはノートにまとめたりしました。一問一答も進めました。	15%	追試も含めて10年分をやりました。1日に2章ずつ一問一答を進め、同じ範囲の教科書を読み直しました。	25%	東進本番レベル模試の過去問を進めていました。また、過去問の大論述を25年分再度解いて、まとめる練習をしました。第3問対策として、センター後も一問一答は継続しました。	20%	最後に『荒巻の新世界史の見取り図』(東進ブックス)と並行して教科書を1周して知識の穴を埋めるとともに、東大模試の過去問題集も解きました。今までの模試や東大本番レベル模試の過去問などの解説を全て読み返しました。
地理 (43)	30%	夏休みに始めた『25か年』(教学社)を繰り返しました。ポイントをノートにまとめていました。	30%	10月と同じです。	30%	センターの過去問を始めました。解くよりも、解説を読んだり資料集や統計を見直すことに時間をかけていました。隙間時間に『25か年』(教学社)の解説を読み進めました。	20%	冬休み前と同じです。	25%	ほとんどセンター試験の過去問を解いていました。追試も含めて20年分は解きました。間違えた問題には印をつけて、翌日や数日後に解き直すようにしました。	20%	東大本番レベル模試の過去問を解き、該当する箇所を『地理の研究』(帝国書院)で復習しました。解説も丁寧に書かれているので、正解した問題もしっかり読みました。また、類似している過去問にも戻るようにしました。	20%	東大模試の過去問題集を解きました。世界史と同様に、今まで解いた模試や過去問の解説を読み直しました。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	2 : 8	【センター：二次】	7 : 3	【センター：二次】	9 : 1
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
文科二類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (87)	20%	8月の後半から過去問に入っており、問題形式別に20年分程度消化していく形で進めていました。より基礎的な解釈能力を問われる要約や小説、和訳は先に済ませていたので、この時期は段落整理や誤文訂正をやっていました。リスニングは得意だったのでほとんど触れていませんでした。	15%	英作文とリスニングを除いて一通り『東大の英語25力年』(教学社)を解き終わっていたので、東進ハイスクールで受講していた過去問演習講座で年度ごとに過去問を解き直し始めました。秋の東大模試前に2、3年分解いて解法と時間配分の確認をしました。宮崎尊先生のテストゼミを受講して、新聞演習も欠かさないよう意識していました。	20%	引き続き過去問演習講座を用いて過去問10年分の解き直しを進めました。一度解いているので、100分の時間制限を設けていました。英作文で減点されがちだったので、『基礎からの英作文パーフェクト演習』(桐原書店)を用いて簡単な熟語表現をさらいました。	25%	センター対策に移行する前に、『鉄緑会東大英単語熟語鉄壁』(角川学芸出版)の3周目をさらってやっ、単語力を強化しました。鉄壁は受験勉強を始めた高2の1月頃に2周して以来、模試前に軽く読んだり、問題演習で気になった単語があった際にセクション単位で見直したりしていました。センター用に「NextStage」(桐原書店)を1日100題ずつ解いて1周しました。	10%	センター英語の読解は二次試験に比べ簡単であるため、二次試験の過去問を3、4日に1年分のペースで解きなおして行きました。センター試験直前に発音・アクセントは対策しておきました。	20%	二次試験過去問の2周目の残りをやりつつ、東大本番レベル模試の過去問を用いて新聞演習をしました。	25%	引き続き東大本番レベル模試の過去問を解き進め、直前の1週間で受験した東大模試の復習に入り、特に英作文で時間短縮できるようにいくつか書き方のパターンを作成して身に付けました。単語も気になったものは『鉄緑会 東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)を参照して意味(ニュアンスも含め)や用法を確認していました。
国語 (60)	10%	現代文は林修先生の授業の予習のみ欠かさず行っていました。古漢は現代文と合わせて週に1、2回過去問演習講座をやっていました。(林修先生の授業で扱った年度のみ進めました)	10%	ほとんど10月と同じでしたが、秋の東大模試前に古文単語や漢文の句形を復習しました。	15%	過去問演習の残りを済ませました。古文は栗原隆先生の授業の総復習を行い、二次試験の直前に見直しするようにノートの重要部分をまとめたおきました。漢文は『漢文句形とキーワード』(Z会出版)を購入して読み始めました。	15%	センターの過去問を始めました。古漢は過去20回分、現代文は過去10回分やりました。	25%	引き続きセンターの過去問を進めました。古漢のみやっった年度は1回35分の時間制限を設けていました。	10%	過去問演習講座で、点数の低かった年度のみ解き直しました。	10%	東大本番レベル模試の過去問を古漢だけ60分で解きました。直前には古文単語や漢文句形も入れ直しました。
数学 (52)	20%	9月から始めた過去問演習講座を進め、10年分を解き終わりました。	25%	『東大文系数学25力年』(教学社)を用いて、難易度(ABC)と年度がバラバラになるようにセットを作り、1セットmax120分かけて解き進めました。	15%	『25力年』(教学社)を用いた過去問演習を続けました。	20%	『25力年』(教学社)を用いた過去問演習を続けました。	20%	年明けからセンター模試の過去問(青本)を用いて、時間を計った演習を積みました。本番前に見直せるように、便利だが忘れがちな公式(三角関数辺り)をまとめておきました。	30%	塾のテストゼミに参加するなど、センターボケを解消するためにとにかく二次試験形式の問題演習を積みました。検算の方法や難問への見切りのつけ方などを考えておきました。	25%	4日間で過去問10年分を一気に解き直しました。東大本番レベル模試の過去問を用いた新聞演習も欠かさずやっていました。
世界史 (44)	30%	荒巻豊志先生の授業の予習と復習(第一問のみ解説をふまえて書きなおしてみる)を欠かさずやっていました。また、論述対策のため東京書籍の教科書を購入し、語句の使い方を意識しつつ熟読していました。第二問対策のために『世界史論述練習帳new!』(バレー社)の付録「60字問題集」を読んで、よくある論点をさらいました。	30%	秋の東大模試に向けて一問一答を1周し、引き続き論述対策も行いました。	30%	荒巻豊志先生の授業で扱った年度から過去問演習講座を始めました。1度解いているので時間制限は設けず、できるだけ早く終わらせていました。また、二次試験前に復習しやすいように、荒巻豊志先生の授業の総復習をしてすべての問題に自分なりの解答を作りました。	25%	一問一答と資料集『タベストーリー』(帝国書院)を用いて知識を補充しました。センターの過去問も25回分を解き始めました。	25%	引き続き知識の補充とセンター過去問をやっていました。19世紀の文化史などは前日にまとめて覚え直しました。	20%	山川出版社の書き込み式教科書を購入して第二・三問対策を行いました。東大本番レベル模試の過去問は第二・三問中心に解き、知識に穴が無いか確認しました。	20%	書き込み式教科書を進めつつ、過去問演習講座を用いて5日ほどで過去10年分を解き直しました。直前1週間で荒巻豊志先生の授業の復習を、記述問題(および問題文)の着眼点に気をつけつつ行いました。
地理 (45)	20%	9月から始めた過去問演習講座を進め、解説を熟読しつつ模範解答を写して使えそうな表現をまとめました。	20%	過去問演習が過去10年分済んだので、秋の東大模試前に出そうなポイントに絞って高橋和明先生のテキストを復習していました。	20%	高橋和明先生のテキストの総復習を行い、記述問題で問われそうな部分(背景や理由を述べている部分)は60～90字でまとめました。	15%	センターの過去問を進めましたが、年度の古いものは統計が異なっていたので深追いはしませんでした。適宜資料集『地理の研究』(帝国書院)を参照しました。	20%	センターの過去問を解き終わったので、受験した東進のセンター模試や8月後半に解いたセンター型問題集を解き直しました。	20%	過去問演習講座を用いて10年分を5日ほどで解き直しました。	20%	東大本番レベル模試の過去問で新聞演習を行い、苦手分野は地理の研究を読んで補強しました。直前1週間で高橋和明先生のテキストを重要部分に絞って復習しました。

センター	【センター：二次】	0.5 : 9.5	【センター：二次】	0.5 : 9.5	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	4 : 6	【センター：二次】	9 : 1
------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
文科三類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (75)	20%	英語は過去問を解いていました。英作文のフレーズや字数内での主張の取め方を覚えるために、自由英作文の模範解答を音読して暗記するようになっていました。	20%	引き続き過去問を解きつつ、宮崎尊先生の東大特准英語の授業で様々な題材に触れていました。このころ、再び英単語力をつけねばと痛感し、『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)を時折読み返していました。	20%	左に同じです。	5%	他科目のセンター対策に追われ、演習量が減ってしまいました。英語のセンター対策は行っておらず、1年分程過去問を解き、宮崎尊先生の講座を受けたにとどまりました。	5%	反省点もありますが、他教科に追われ英語はほとんど取り組めていませんでした。センター対策については、宮崎尊先生のオンラインでの双方向授業に参加し、発音アクセント問題の対策を行いました。	20%	このところほとんど対策が出来ておらず危機感を覚え、二次試験の過去問をスピードを意識しながら解き進め、10年分を終えたら2周目に突入しました。英語に関しては、1年分解いた長文やリスニングのスキriptを本文理解が出来るなるべく速いスピードで音読することで、理解を深めつつ英語に慣れました。	25%	左に同じです。東大本番レベル模試の過去問を活用し、最終的な解答スピードの確認を行いました。自由英作文で使える表現探し&暗記は二次試験直前まで行って行っていました。リスニングについては数々の東大模試で配付された音声CDをウォークマンに入れ、1.5倍速で聞いていました。
国語 (69)	10%	現代文に関しては林修先生の講座で学習していました。古典については週に1、2年分過去問を解き、コンスタントに触れるようにしました。	5%	その他の科目に時間を費やすことが得策だと思ひ、内容は10月と同様ですが、取り組む量を減らしました。	5%	左に同じです。	20%	取り組んでいない年のセンター過去問を、現代文、古文漢文→セリトとして取り組んでいきつつ、二次対策として林修先生の講座を受講しました。	10%	二次対策はいったん中断し、センターで不安の残る古典の点数アップを図り、栗原隆先生の東大古文の講座のテキストの巻末についている付録を読んで復習しつつ、学校の授業のノートを読み返して、文法の抜けが無いが確認しました。	10%	林修先生の講座の添削を復習しつつ、授業で取り扱った2000年以降の過去問の復習を行いました。また、東大本番レベル模試の過去問を利用して、練習不足と感じた古漢の対策を行いました。	15%	左に同じです。
数学 (54)	20%	数学は過去問演習講座を進めつつ、『25か年』(教学社)で苦手な分野の問題を週に3問ほど解き進めました。	25%	左に同じです。	25%	左に同じです。	30%	数学はセンターの過去問を20年ほど解き進め、スピードに慣れ自分がどこでミスをするのか把握しつつ、改善に努めました。	25%	左に同じです。	25%	今更ながら『文系数学の良問プラチカ—数学 I・A・II・B』(河合出版)を購入し、苦手な分野の問題を1日1ページ解き進め、できなかったところは模範解答を写しました。過去問演習講座で10年分の2周目をを行いました。	25%	左に同じです。
日本史 (43)	30%	日本史は学校の進度とともに論述対策をしつつ、ひたすら参考書と日本史の教科書を眺め、一刻も早く通史を終わらせ多面的に考える努力をしていました。	30%	通史を終えたので、授業で引き続き新たな視座を学びつつ、過去問演習講座で過去問10年分を解き進めました。	30%	左に同じです。	25%	センター過去問を20年ほど解き進めていました。片手に過去問を持ち、もう片方の手に解説を開きつつ、一問解くごとに解説を見てその場で解説ごと覚えてしまうことで、時間短縮しながら能率を上げることが出来ました。また参考書の論述の基礎のページを利用して基本的な事柄や因果について説明できるように努めました。	30%	左に同じです。また、(日本史とは別ですが)センターの理科基礎についてこれまで全く対策をしていなかったため、集中的に3日間ほどで理科基礎を1から復習し直すことに専念しました。	25%	『東大日本史問題演習』(東進ブックス)を利用して、論述問題の演習量を増やしました。また、過去問10年分のうち、苦手な問題を解き直しました。東大本番レベル模試の過去問も利用しました。過去問演習では解説の熟読に重きを置いていました。	25%	左に同じです。自問自答をよく行っていました。
地理 (37)	20%	地理については過去問演習講座で過去問10年分を解き進めつつ、疑問点については高橋和明先生の授業テキストを参照して解決していました。	20%	左に同じです。	20%	左に同じです。	20%	日本史と同じように、センター過去問を20年ほど解き進めていました。片手に過去問を持ち、もう片方の手に解説を開きつつ、一問解くごとに解説を見てその場で解説ごと覚えてしまうというこの方法は地理にも利用しており、効果があったように思います。高橋先生の講座のテキストも暇な時に読み返していました。	30%	左に同じです。	20%	高橋和明先生のテキストの読み返しを行いつつ、10年分の過去問の復習、東進模試の過去問も利用しました。	20%	左に同じです。地理も日本史同様自問自答をよく行っていました。

センター	【センター:二次】	0 : 10	【センター:二次】	0 : 10	【センター:二次】	2 : 8	【センター:二次】	8.5 : 1.5	【センター:二次】	9 : 1
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-----------	-----------	-------

科 類
文科三類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (80)	10%	英数に時間を割く余裕がなく、週1の塾の課題、テスト演習でしか英語に触れていませんでした。でもリスニングだけは毎日必ずpodcastでCNN10を聴くようにしていました。	10%	東大即応オープンリスニングで失敗し、触れられていなかったつげが回ってきたのと痛感しました。でも相変わらず時間を割く余裕がなく、週1の塾の課題、テスト演習でしか英語に触れていませんでした。	10%	英数に時間を割く余裕がなく、週1の塾の課題、テスト演習でしか英語に触れていませんでした。センターに移る前までに過去問を8年分ほどやりました。	10%	塾の授業が年末までであったので、年明けまで二次対策をしていました。	0%	ほぼノータッチで、模試で解くくらいでした。センターボケを防ぐべきなのは分かっていたので、1日5分でも長文を読めば良かったのですが。	30%	東大本番レベル模試で失敗し、流石に英語力の低下に危機感を持ちはじめ、東大予想問題や過去問に毎日触れました。	20%	予想問題や過去問をやりました。20分ぐらい制限時間を短くしてやるのがお勧めです。
国語 (58)	20%	東大本番レベル模試でとても悪かったので、とりあえず『得点奪取古文』『得点奪取漢文』(共に河合出版)を使って古典をやりました。	20%	秋の東大模試の前に古典の知識事項を一通り確認しました。過去問も少しずつ消化していききました。現代文は林修先生の授業の復習をしました。	20%	センターの勉強に移る前に、過去問をセットで8年分ほどやりました。	20%	センターの過去問演習しませんでした。	30%	センターの過去問演習をしました。直前に焦って漢字等現代文の知識問題対策をしましたが、あまり効果はなかったです。	10%	過去問10年分をセットで終わらせた後、現代文は林修先生の授業の復習、古典は更に古い過去問を解きました。	10%	直近10年分の過去問の復習、古典の知識確認をしました。
数学 (50)	10%	英数に時間を割く余裕がなく、週1の塾の予習をやるだけでした。	10%	英数に時間を割く余裕がなく、週1の塾の予習をやるだけでした。	20%	英数に時間を割く余裕がなく、週1の塾の予習をやるだけでした。過去問は8年分ほどやりました。	20%	センターの過去問演習しませんでした。	20%	センターの過去問演習をしました。出題範囲が狭い年の過去問は時間も半分くらいに設定して解きました。	10%	確率・微積分など頻出範囲を復習してから、過去問を20年分終わらせました。	10%	分野ごとに過去問を復習して傾向を分析しました。
日本史 (31)	40%	『詳説日本史ガイドブック』(山川出版社)をひたすら読みつつ、過去問演習を進めました。東大日本史は山川の教科書を読み、と言われているので3周ほど読んでみましたが、あまり自分に合わなかったため、私はガイドブック1本でいくことに決めました。	40%	引き続き『詳説日本史ガイドブック』(山川出版社)を読みつつ、過去問演習を進めました。『東大日本史問題演習』(東進ブックス)の過去問の部分はとてもおすすめです。	30%	『詳説日本史ガイドブック』(山川出版社)と過去問の内容を連携させつつ、過去問を進めました。	10%	日本史はなるべく古くまで過去問を遡る方がよいので、年が明けるまでセンターに移らず二次対策をして、過去問25年分ほど終わらせました。	20%	3日に1回くらいのペースでセンターの過去問をやりました。ずっと85点あたりで点数が伸び悩んでいましたが、直前に知識を詰め込みました。	30%	過去問を30年分ほどやり、『東大日本史問題演習』(東進ブックス)の予想問題の部分や東大本番レベル模試の過去問をやりました。	30%	手に入り得る予想問題と過去問の復習をしました。『詳説日本史ガイドブック』(山川出版社)をベースにしました。
地理 (37)	20%	センター用の教材で知識を確認しつつ、過去問を少しずつ消化していききました。地理も教科書を読もうとしたのですが、自分に合わなかったのでやめました。	20%	知識を確認しつつ、過去問を消化しました。加えて、塾でもらった論述例題の読み込みを始めました。地理は時事性のある問題も出題されるため、東大模試の復習も念入りに行いました。	20%	地理にあまり時間を割けなかったのですが、センターの対策もかねて知識の確認をしました。	40%	センターがずっと悪かったので、分野ごとに知識の確認と過去問の演習をすることを繰り返したところ、なんとか伸びました。	30%	センターレベルの知識の確認と、残しておいた直近3年分の過去問を終わらせて、直近10年分の過去問を復習しました。センターの知識確認は二次にも直結します。	20%	地理はあまり過去問を遡れないのですが15年分くらいは終わらせました。論述例題を何度も読み、過去問の復習もそれを参照しつつ進めました。	30%	直近の過去問10年分をもう1度復習し、東大本番レベル模試の過去問も解きました。論述例題をベースにしました。

センター	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	8 : 2	【センター：二次】	9 : 1
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類

理科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (66)	20%	週1で過去問を1年分やり、移動の際の電車の中で『キムタツの東大英語リスニング』(アルク)を1回分聞いてました。長文読解は学校の教材をやったり、東大特進の宮崎尊先生の講座を通してやりました。単語は単語帳は使わず、長文にでてきたものを覚えるという感じでした。あとは休憩の時は洋楽を聞くようにしていました。	20%	10月と同じです。	20%	ある程度、二次試験の勉強に区切りをつけるために、できるだけ緊張感を持って、入試と同じ時間帯に過去問を解いて自分のその時点での実力を測っていました。あとは10月、11月の解いた過去問の復習をしていました。	5%	センターの過去問を中心に勉強していました。二次試験の対策は冬期集中講座の授業で行いました。過去問以外のセンターのための問題集や参考書は使っていません。	5%	センターの過去問を10年分終わらせました。ちなみにセンター前もリスニングはかかさずにやっていました。	15%	とにかく過去問をやっていました。直近10年分では足りなかったので、『25か年』(教学社)もやっていました。直前テストゼミも受けました。	15%	基本的には左と同じ。試験一週間前に残しておいた2015年の過去問をやって、まだ不安の残る設問を探し、そこを重点的にやりました。
国語 (38)	5%	週1で過去問を1年分やっていました。その他は、現代文は林修先生の授業を受けて、その復習をしていました。古漢は何もしていませんでした。	5%	10月と同じです。	20%	ある程度、二次試験の勉強に区切りをつけるために、できるだけ緊張感を持って、入試と同じ時間帯に過去問を解いて自分のその時点での実力を測っていました。あとは10月、11月の解いた過去問の復習をしていました。	35%	古漢はそれまで本格的に勉強していませんでした。センターレベルも解くことができず、参考書から出直しました。普通の単語帳では覚えてもすぐ忘れてしまうので、『ゴロで覚える古文単語ゴロ565(ゴロゴ)(アルス工房)を使って語呂で覚えていました。文法は学校で配られていたものを使いました。現代文は過去問のみやっていました。	30%	センターの過去問を10年分終わらせました。単語は継続的にやっていました。センターの過去問だけでは不安だったので、センターの予想問題なども古漢のみやっていました。	10%	過去問10年分のみやっていました。直前テストゼミも受けました。	15%	現代文は直近10年分の過去問をやった。林修先生の解答と見比べていました。
数学 (103)	35%	週1で過去問を1年分やっていました。その他は志田晶先生や長岡恭史先生の講座を受けたり、夏期集中講座の復習をしていました。学校では『スタンダード数学演習』(数研出版)をやっていました。	25%	10月と同じことをやりつつ、『25か年』(教学社)で2000年から2006年の分もやっていました。	20%	ある程度、二次試験の勉強に区切りをつけるために、できるだけ緊張感を持って、入試と同じ時間帯に過去問を解いて自分のその時点での実力を測っていました。あとは10月、11月の解いた過去問の復習をしていました。	5%	センターの過去問を中心に勉強していました。二次試験の勉強は冬期集中講座の授業で行いました。過去問以外のセンターのための問題集や参考書は使っていません。	20%	センターの過去問を10年分終わらせました。センターの勉強ばかりで飽き、二次試験の数学の方が不安だったので、基本の確認として、『大学への数学 1対1対応の演習』(東京出版)を問題を見て、細かい計算はせずに、頭の中で解くということをしていました(センターには出ないけど、数Ⅲもやっていました)	15%	夏からの東大特進の教材を総復習して、2000年から2016年の過去問を終わらせました。直前テストゼミも受けました。	10%	基本的には左と同じ。試験一週間前に残しておいた2015年の過去問をやって、まだ不安の残る設問を探し、そこを重点的にやりました。
物理 (40)	10%	週1で過去問を1年分やっていました。その他は苑田尚之先生の講座を受けて、その教材にのっている演習問題をやっていました。	20%	理論はある程度固まっていたので、いちいち導出することをやめて、ある程度公式を暗記し、『難問の系統とその解き方物理』(ニュートンプレス)の例題問題を使いつつ、問題を速く解く練習をしました。	20%	ある程度、二次試験の勉強に区切りをつけるために、できるだけ緊張感を持って、入試と同じ時間帯に過去問を解いて自分のその時点での実力を測っていました。あとは10月、11月の解いた過去問の復習をしていました。	5%	センターの過去問を中心に勉強していました。二次試験の勉強は冬期集中講座の授業で行いました。過去問以外のセンターのための問題集や参考書は使っていません。二次試験が解ける実力がついていけば、センター対策はさほどする必要はないと思います。	5%	センターの過去問を10年分終わらせました。あと原子の勉強は「ハイレベル物理」でやっていました。	30%	ハイレベル物理の総復習、夏からの東大特進の教材を総復習して、2000年から2016年の過去問を終わらせました。直前テストゼミも受けました。	30%	基本的には左と同じ。試験一週間前に残しておいた2015年の過去問をやって、まだ不安の残る分野を探し、そこを重点的にやりました。
化学 (44)	30%	週1で過去問を1年分やっていました。その他は、基本的にハイレベル化学、や東大特進の東大化学を受講していましたが、苦手な分野は『化学重要問題集』(数研出版)を使って慣れていきました。	30%	10月と同じことをやりつつ、『25か年』(教学社)で2000年から2006年の分もやっていました。	20%	ある程度、二次試験の勉強に区切りをつけるために、できるだけ緊張感を持って、入試と同じ時間帯に過去問を解いて自分のその時点での実力を測っていました。あとは10月、11月の解いた過去問の復習をしていました。	15%	化学はこの時期に、知識をとにかく詰め込んでいました。無機、有機を中心に、東大化学のテキストの知識系のところを総復習しました。あとはセンターの過去問をとにかくやっていました。また、センター地理を全体の35%程度の時間を使って勉強していました。	5%	センターの過去問を10年分終わらせました。また、センター地理を全体の35%程度の時間を使って勉強していました。	30%	ハイレベル化学の総復習、夏からの東大特進の教材を総復習して、2000年から2016年の過去問を終わらせました。直前テストゼミも受けました。	30%	基本的には左と同じ。試験一週間前に残しておいた2015年の過去問をやって、まだ不安の残る分野を探し、そこを重点的にやりました。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	8 : 2	【センター：二次】	9 : 1
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
理科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (82)	10%	毎朝『DUO3.0』(アイシーピー)の音読をしていました。気が乗った時に英文をかいて添削してもらったり、長文の音読をしたりしていました。もともと得意だったのであまり時間はかけないようにしていました。	10%	毎朝ではないものの定期的に単語帳の音読をしつつ、『長文問題精講』(旺文社)の問題や二次試験の過去問をたまに解いていました。	10%	11月とほぼ同じ。	10%	センターの過去問をたまに解いていました。	5%	12月末とほぼ同じ。	20%	国語と数学の2教科と、英語と理科の2教科にわけて、1日ごとに交代して過去問演習をやっていました。リスニングは過去問を1.1倍速で流して1回だけ聞いて解くようにしていました。	20%	1月とほぼ同じ。
国語 (46)	10%	古典に関しては特に何もしてなかった。現代文は、林修先生の授業の復習に力を入れていました。	10%	『漢文道場』(Z会出版)の錬成編を解いていました。現代文は10月と同じ。	20%	『古文単語FORMULA600』(東進ブックス)を使った古文単語の暗記と、センターの過去問演習をしていました。結局センターまでに完成しなかったため、もっと早くから古典の勉強を始めべきだったと思います。	30%	冬休み前とほぼ同じ。	65%	冬休み前とほぼ同じ。この時期は急にセンターに不安を感じ、国語と世界史のセンター対策ばかりやっていた。後から考えるとセンターにそこまで力をかける必要は無かったと思います。	20%	国語と数学の2教科と、英語と理科の2教科にわけて、1日ごとに交代して過去問演習をやっていました。自己採点の際に、『鉄緑会東大古典問題集』(角川学芸出版)と林修先生の現代文の過去問解答集を参考にしました。国語はここでもかなり伸びた気がします。	20%	1月とほぼ同じ。
数学 (69)	25%	学校のプリント(地方国公立、私大の過去問)の復習と、過去問演習をしていました。過去問を解けるレベルに達してはなかったが、東大の形式に慣れるために始めました。過去問は『東大の理系数学25か年』(教学社)を用いて、難易度の低い問題から解いていました。自力で解けない時は答えを写しながら理解するように努めました。	25%	10月とほぼ同じ。秋の東大模試の復習もしました。	20%	10月とほぼ同じ。	20%	二次試験の過去問に加え、センターの過去問を制限時間を60分くらいに設定して解いていました。段々と時間内に解き切れるようになっていきました。	10%	冬休み前とほぼ同じ。	30%	国語と数学の2教科と、英語と理科の2教科にわけて、1日ごとに交代して過去問演習をやっていました。自己採点の際に、『鉄緑会東大数学問題集』(角川学芸出版)を参考にしました。学校の先生に添削してもらったこともありました。	30%	1月とほぼ同じ。
物理 (25)	25%	学校の先生に個別に出してもらったプリントを主に使っていました。苑田尚之先生の授業も受講していたが、復習が中途半端であり身につきませんでした。他にもいろいろな問題集に手を出したが、自分に合った問題集に出会えず、特に何も身につけませんでした。	30%	10月とほぼ同じ。秋の東大模試の復習もしました。	30%	10月とほぼ同じ。	20%	10月とほぼ同じ。センター対策も始めました。	10%	センターの過去問を解いていました。	15%	国語と数学の2教科と、英語と理科の2教科にわけて、1日ごとに交代して過去問演習をやっていました。自己採点の際に、『鉄緑会東大物理問題集』(角川学芸出版)を参考にしました。物理は出来ないと割り切っていたので、タイムロスなく最短時間で取れる点を拾うように心がけていました。	15%	1月とほぼ同じ。
化学 (45)	30%	『化学重要問題集』(数研出版)を使っていました。初見では解けない問題も多かったが、教科書やノートを見ながら解いてみたり、諦めて解答解説を読んだりしました。解説を読んで、知識がまだちゃんと頭に入っていないと感じた項目は教科書や資料集を読み直して問題集用のノートにまとめました。これはかなり効果的でした。	25%	10月とほぼ同じ。秋の東大模試の復習もしました。	20%	問題集に加えて、週に1度二次試験の過去問を解きました。	20%	センターの過去問を解いたり、二次試験の過去問を解いたりしていました。	10%	センターの過去問を解いていました。	15%	国語と数学の2教科と、英語と理科の2教科にわけて、1日ごとに交代して過去問演習をやっていました。自己採点の際に、『鉄緑会東大化学問題集』(角川学芸出版)を参考にしました。なにかわからないことがあれば問題集用ノートを読み返したり、調べてそこに書き込んだりするようにしていました。	15%	1月とほぼ同じ。

センター	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	3 : 7	【センター:二次】	5 : 5	【センター:二次】	10 : 0
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	--------

科 類
理科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (82)	20%	宮崎尊先生の授業とその復習を中心に、過去問を大問別に取り組んで、大問ごとにものにしていきました。『東大の英語25ヵ年』(教学社)はずっと続けていました。	20%	10月に同じです。自由英作文は毎日1つ書くようにしていました。	20%	基本的には11月と同じです。	20%	センターが近付いたので、過去問の頻度を落とし、東大特進で購入したりスニング教材を使っていました。	10%	センターの過去問を2.3年分だけ解きました。	15%	二次試験の過去問を120分計って解きました。過去問がなくなったら、東進の東大本番レベル模試の過去問を解いたり、宮崎尊先生の復習をしていました。	10%	左に同じです。予想外のことが起きた時の備えとして、当日この大問が難しかったらどう対処するか、といったことも考えておきました。
国語 (32)	0%	林修先生の授業で対策していました。	0%	林修先生の授業で対策していました。	0%	林修先生の授業で対策していました。	10%	センターの過去問を解き始めました。	30%	センターの過去問を引き続き解きました。全部で25年分ほどやりました。また、古文単語、文法、漢文の句法などであやしい部分の復習をしました。	5%	古典の二次試験の過去問をやり始めました。現代文は林修先生の授業で対策しました。	5%	古典は過去問の古文漢文を30分計って取り組んでいました。2000年より前の過去問は難しく参考にならないと聞いていたので、解く問題がなくなったら東大本番レベル模試の過去問などをしていました。現代文は今までの林修先生の授業でやった問題をもう一度答案作成をしたりして復習をしました。
数学 (75)	30%	長岡森史先生の東大特進数学を受講していました。過去問が全く解けなくて、焦って『東大の理系数学25ヵ年』(教学社)を始めて過去問慣れしようとしていました。	30%	『東大の理系数学25ヵ年』(教学社)を解いていました。	30%	『東大の理系数学25ヵ年』(教学社)をしていました。このくらいの時期からは6問150分で計って解き、時間を意識し始めました。	20%	センターが迫ってきたので、過去問の頻度を落とし、なまならないように1日1題は解くようにしていました。	10%	センターの過去問を数年分解きました。『東大の理系数学25ヵ年』(教学社)も1日1題は解くようにしていました。	50%	この時期になっても、過去問があまり解けず2周目を始めました。	35%	やっと必要最低限のレベルまでは解けるようになりました。根気強く『東大の理系数学25ヵ年』(教学社)を続けました。『東大数学』で一点でも多くとる方法(東京出版)という本も参考に使っていました。
物理 (53)	15%	苑田尚之先生の授業の復習をしていました。	15%	苑田尚之先生の授業を受けつつ、『東大の物理25ヵ年』(教学社)に取り組み始めました。	15%	『東大の物理25ヵ年』(教学社)をしていました。このくらいの時期からは化学との時間の折り合いを考えて、化学と合わせて150分で解くようにしていました。	15%	左に同じです。	5%	センターの過去問を数年分解きました。センターにしか出ないような細かい知識や語句などを詰めました。	15%	化学と合わせて時間を計り、ひたすら過去問を解いていました。	25%	過去問がなくなってきたので、東進の東大本番レベル模試の過去問や、東大模試の過去問題集などに取り組みました。これも、化学と合わせて時間を計ってやりました。また、当日どこかの大きな変化があった時にどうするかをあらかじめ考えておき、予想外の出来事に備えました。実際、化学の問題量が激減して、問題レベルもかなり下がる予想外の事態が起きりましたが、備えていたおかげで動揺することもなく、落ち着いて対処できました。
化学 (48)	35%	『化学の新演習』(三省堂)を使って演習に取り組んでいました。わからないことが出てきたら、『化学の新研究』(三省堂)を辞書代わりに使っていました。	25%	基本的には左に同じです。 残りの10%の時間は、センター社会に充てていました。	15%	『化学の新演習』(三省堂)の残りを消化しつつ、物理と合わせて150分で過去問を解いて、時間の使い方の感覚を鍛えました。 残りの20%はセンター社会に充てていました。	15%	左に同じです。 残りの20%はセンター社会に充てていました。	5%	センターの過去問を数年分解き、細かい知識を詰めなおしました。また、有機の構造決定はやっておかないとまるまるといわれていたので、1日1題解くようにしていました。『化学の新演習』(三省堂)は、有機の問題をたくさん収録してある問題集なので、ここでものすごく役に立ちました。 残りの40%はセンター社会に充てていました。	15%	物理と合わせて時間を計り、ひたすら過去問を解いていました。	25%	物理の欄に書いた通りです。有機の構造決定1日1題は引き続き続けました。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	2 : 8	【センター：二次】	3 : 7	【センター：二次】	8 : 2
------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
理科一類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (72)	10%	この時期はあまり英語をやっていませんでした。寝る前とかに『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)を軽く読んだり、『キムタツの東大英語リスニング』(アルク)を週1くらいのペースでやっていたくらいでした。また、塾に週1で通っていたので、そこでも英語をやっていました。	10%	左に同じです。	10%	左に同じです。	5%	英語に触れることが減りました。相変わらずやっていたのは『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)と『キムタツの東大英語リスニング』(アルク)だけです。センターの過去問は2、3年やりましたが、9割は取れたのでそんなにたくさんはやりませんでした。	10%	センターの過去問を引き続きやっていました。より高得点を狙うには発音アクセントをきちんとやっていた方がいいと考え、『短期で取める 最頻出問題 発音・アクセント』(ピアソン桐原)という参考書をやりました。	10%	『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)と『キムタツの東大英語リスニング』(アルク)をひたすらやっていました。過去問も解き始めました。この時期に英語が0点でも数物化で9割取れば受かることに気付いてしまったので、英語に対するやる気が激減しました。	20%	センター終了後の1月とやっていたことはほぼ同じです。英語はわりと手遅れになっていたのので、リスニングと段落整理と英作文と和訳を頑張っただけは捨てるという戦略で60点を確実に拾おうと考えました。本番1週間前には本番と全く同じ時間帯に2015年の過去問を解きました(点数は65点でした)。過去問は全部で10年分やりました。平均で73点取れていました。
国語 (35)	0%	(何もしていませんでした。)現代文の対策を林修先生の授業でしていました。	4%	流石に漢文が出来なさすぎると思い、『漢文道場 入門から実戦まで』(Z会出版)を少しやりました。	15%	左に同じです。	60%	センター試験の過去問を解き始めました。そこでようやく自分の国語のやばさに気がきました。学校で配られていた『ミラクル古文単語396』『超スコ速古典文法50』(共に旺文社)、学校で配られた漢文のプリントを使って、ひたすら古文漢文の基本的な単語や文法を確認していました。	75%	国語は本当にやばかったので、冬休みと同じように基礎を確認しながら、ひたすらセンターの過去問をやりました。冬休みと合わせておよそ25年分ほど解きました。	10%	過去問を解き始めました。それと並行して、林修先生の授業の復習をしていました。また2006年以前の過去問はまとめて解く気が無かったので、時間があつたら、2006年以前の国語はばらばらに解いていました(例えば現代文のみを60分で解いたりなどです)。	15%	左にほぼ同じです。本番1週間前には本番と全く同じ時間帯に2015年の過去問を解きました(点数は42点でした)。通してやった過去問は10年分で、平均で44点くらい取れていました(現代文が初見ではないため、多少点が高くなっています)。
数学 (115)	30%	『入試数学の掌櫃』(エール出版社)という全3巻からなる参考書をひたすらやっていました。また整数が好きだったので息抜きに整数問題を解いたり、整数論の勉強をしていました。	30%	左に同じです。	25%	左に同じです。	15%	受験数学はほとんどやらずに、ひたすら整数とたわむれていました。	5%	センターの過去問を3年分やりましたが、195点くらいは楽に取れたのでほとんど何もしてませんでした。	30%	過去問を解き始めました。2007年の過去問から解き始めましたが、時々行列の問題が混ざっていたので、それは飛ばして、代わりに時間を25分短くしてやっていました。	25%	左にほぼ同じです。本番1週間前には本番と全く同じ時間帯に2015年の過去問を解きました(点数は100点でした)。過去問は全部で10年分やりました。平均で96点くらいとれていました。
物理 (54)	30%	塾で行われる演習を中心にやっていました。また塾で配られた本番に似せたセットを化学と一緒に週2くらいのペースでやっていました(東大模試の過去問などをを使うのも良いと思います。)	28%	左に同じです。	25%	左に同じです。	5%	センターの過去問を多少やっていますが、95点は確実に取れたのでほとんどやっていませんでした(この油断が本番82点という悲劇を招きました)。	5%	左に同じです。	25%	過去問は2014、2015、2016のみやろうと考えていた(それ以前は2016年のに比べて簡単すぎるのと一度塾でやったことがあるのが多かった)ので、この時期はまだやっていませんでした。代わりに塾で配られた本番に似せたセットを化学と一緒に150分やっていました。	20%	塾で配られていたセット及び過去問を解きました。本番1週間前には本番と全く同じ時間帯に2015年の過去問を解きました。(点数は56点でした)。過去問は全部で3年分やりました。平均で55点くらい取れていました。
化学 (51)	30%	塾で行われる演習を中心にやっていました。また塾で配られた本番に似せたセットを化学と一緒に週2くらいのペースでやっていました(東大模試の過去問などをを使うのも良いと思います。)	28%	左に同じです。	25%	左に同じです。	15%	センターを何年分かやりました。細かい知識(例えばコロイドの定義などです)が抜けていたので、そこを埋めるために学校で配られた教科書を読み込んでいました。	5%	過去問で95点は取れたので1月に入ってからあまりやらなくなりました(この油断が本番92点という悲劇を招きました)。	25%	過去問は2014、2015、2016のみやろうと考えていた(それ以前は2016年のに比べて簡単すぎるのと一度塾でやったことがあるのが多かった)ので、この時期はまだやっていませんでした。代わりに塾で配られた本番に似せたセットを物理と一緒に150分やっていました。	20%	塾で配られていたセット及び過去問を解きました。本番1週間前には本番と全く同じ時間帯に2015年の過去問を解きました(点数は40点でした)。過去問は全部で3年分解きました。平均で42点くらい取れていました。

センター	【センター：二次】	2 ; 98	【センター：二次】	5 ; 95	【センター：二次】	15 ; 85	【センター：二次】	60 ; 40	【センター：二次】	95 ; 5
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	---------	-----------	---------	-----------	--------

科 類

理科二類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (60)	20%	塾の勉強以外していませんでした。塾での成績はそれなりに良かったのですが、模試での結果は芳しくなく、この時点で勉強法を変えるべきだったと後悔しています。やっていたことは主に自由英作文と長文読解でしたが、単語力が圧倒的に足りない僕に必要なだったのは単語のインプットだったなと思いました。	20%	10月と一緒にです。	25%	秋の東大模試で最悪の出来だったので、さすがに危機感を持ち始め、単語のインプット、今まで使ってきた文法書の復習、リスニング対策を自分から行うようになりました。しかし手遅れ感も否めませんでした。これは本来夏前にやるべき勉強です。	15%	センター対策として行ったことといえば文法問題ぐらいです。発音アクセント問題は得意でしたし、読解問題は焦らなければ間違えないと思っていたからです。	15%	12月とやったことは変わりませんが、結局本番では努力むなしく文法問題で11点も失点し、非常に落胆したのを覚えています。他は間違えなかったのが不幸中の幸いでした。	35%	センター終了2日後から勉強を始めました。塾の勉強以外は単語のインプット、『キムタツの東大英語リスニングSUPER』(アルク)、そして東進の過去問演習講座と赤本を用いた過去問演習を行っていました。復習もきっちりやりました。	35%	左に同じです。
国語 (36)	5%	自習時間が最も少なかったと思います。現代文は林修先生の教材で勉強していました。古文は使い古した単語帳をスキマ時間で確認するのみ、漢文に至ってはほとんど勉強していませんでした。	5%	10月と一緒にです。	20%	センターの過去問を解き始めました。難しいと評判の2014年を後回しにして、過去20年分をつぶしていきました。平均して170点ぐらいあったので、そんなに心配もしていなかったように記憶しています。	30%	過去問演習とその復習のみしていました。間違えた問題はピックアップしてメモしていました。	30%	12月とやったことは変わりません。結局本番では160点程度に取まりました。大失敗しなかったことは良かったものの、8割しか取れなかったのは悔やむところでした。	10%	現代文に関しては今まで受講してきた林修先生の教材の復習と過去問演習、古典に関しては相変わらず単語や文法のインプットやアウトプットと過去問演習を続け、本番までそのやり方を貫きました。	10%	左に同じです。
数学 (108)	25%	夏に『大学への数学 1対1対応の演習』(東京出版)をやりましたので、この時期は学校の勉強のみでした。夏の東大模試では全く良い結果が出ませんでした。きつと秋の東大模試で成果が出ると思って、復習を丁寧にしていました。	25%	10月と一緒にです。	25%	結局秋の東大模試で半分も点数が取れなかったため、二次試験の数学は諦めて、センター試験の数学で満点を取ることを目指し始めました。しかし、過去問を解いてもいつも97点ばかりだったので、おそらく本番は90点ぐらいしか取れないのだろうなあと思いつつ解いていました。	25%	過去問演習のみしておりました。IAのほうがII Bよりミス誘引しやすかったので、IAの難しいと評判の年を中心にしようしていました。	25%	12月とやったことは変わりません。自分でも信じられませんでした。本番では200点満点が取れました。でも、最初から満点答案が書けたわけではなくて、見直しを怠らなかつたことで終了5分前に計算ミスを見つけた結果でした。	35%	学校の教材の緻密な復習、及び東進の「過去問演習講座」と「赤本」を使った過去問演習を20年分やりました。それ以外はしていません。本番は70点ぐらい取れればいかなと思っていました。過去問の出来は比較的良かったので、実力が出せれば目標を達成できるなと考えていました。	35%	左に同じです。
化学 (38)	25%	塾の勉強を中心にやっていました。もともと化学が好き&得意だったこともあり、予復習は積極的に行ってました。夏の東大模試も偏差値が70ぐらい出たので安心していました。	25%	10月と一緒にです。	5%	塾の勉強以外していませんでしたが、塾の授業がいったん終わるといったん化学の勉強は終わりました。直近3回のセンター模試もすべて満点だったので改めてセンター対策をやる必要もないと高をくっていました。	0%	本当に何もしていません。	0%	これだけなめきつた真似をした代償は大きく、本番は案の定、満点を逃しました。どれだけ得意な科目であっても触れなければ感覚は鈍ります。1日30分で良いので取り組むことが肝要です。	10%	センターでほとんど触れなかったものだから、感覚を取り戻すのが大変でした。過去問演習以外特にも何もしていませんが、解くスピードがあまりにも遅くなっていて精神的に苦痛でした。そうは言ってもやらざるを得ないので、しっかりと取り組みました。復習も綿密に行いました。	10%	左に同じです。
生物 (36)	25%	この時期に行った生物の勉強は教科書の精読ぐらいです。ですが比較的時間を割き、できるだけ正確に知識を補充しようと努めていました。これが秋の東大模試の結果につながったと思っています。	25%	10月と一緒にですが、たまに学校で配られたセンター形式の問題をやっていました。	25%	秋の東大オープン模試で全国6位をとって調子に乗っていた僕でしたが、センター対策は疎かにしていませんでした。しかしセンター対策についてもやることは変わらなくて、教科書の精読と過去問の演習しかしていません。とはいえ、センター試験特有の問題(年代問題や動物門などの暗記)などは嫌々ながら力を入れてやりました。過去問を解いても90点が関の山だったので、センターは難しいなあと言いながら本番は90点取れば御の字だと思って解いていました。	30%	左に同じです。	30%	勉強法は変えていません。本番は教科書の誤った記述に足を拘われ、鳥類の出現時期の問題のみ間違えて97点でした。とても悔しかったです。	10%	勉強法は変えていません。教科書の精読と過去問の演習及び復習のみです。	10%	左に同じです。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0.5 : 9.5	【センター：二次】	9 : 1	【センター：二次】	10 : 0	【センター：二次】	10 : 0
------	-----------	--------	-----------	-----------	-----------	-------	-----------	--------	-----------	--------

科 類
理科二類

二次 科目	5科目 に対する学習 割合	10月	5科目 に対する学習 割合	11月	5科目 に対する学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する学習 割合	2月
英語 (89)	15%	夏休みに始めた『25ヵ年』(教学社)を1日に大問1, 2個のペースで続けました。時間の短縮を目標にしています。『キムタツの東大英語リスニング』(アルク)を夏休みから引き続きやりました。息抜きに洋書も読んでいました。	15%	10月とほぼ同じです。	10%	10月とほぼ同じです。	10%	過去問は引き続き解きました。単語の確認と英文文の表現を増やそうと思い、単語帳『DUO3.0』(アイシービー)を5日で1周のペースで毎日やりました。センター対策は宮崎尊先生の授業で行いました。	10%	12月とほぼ同じです。	15%	英文が不安で不安で仕方なかったため参考書を1冊買って集中的にやりました。直前にするべきことではないですが、本番で苦手意識なく臨めたので良かったです。『25ヵ年』(教学社)の終わっていないところや復習をしました。	15%	東大本番レベル模試の過去問で時間配分の最終チェックをしました。『キムタツの東大英語リスニングSUPER』(アルク)を数回分聞きました。
国語 (48)	5%	現代文は東大特進の林修先生の授業で対策しました。解答のプロセスを確立させようと思ったので、夏や秋の講座の問題を定期的に繰り返し解いていました。古漢の単語や句形は模試前にまとめてチェックしていました。	5%	10月とほぼ同じです。	10%	10月とほぼ同じです。古漢をだいぶ忘れていたので、『古文単語315』(桐原書店)と『漢文道場』(Z会出版)をまじめに復習しはじめました。	20%	センター模試で点を落としがちだったので、参考書と単語帳で古漢の知識を覚え直しました。センターの過去問を直前までに古漢は25分、現代文は10分分解きました。	20%	12月とほぼ同じです。	15%	いままでの林修先生の授業のテキスト(主に夏以降)を復習しました。古文漢文は東大本番レベル模試の過去問を解きました。	10%	1月と同じです。
数学 (74)	35%	夏休みに始めた『25ヵ年』(教学社)を引き続き解きました。ランダムに選んで解けそうな問題は時間をかけて解き、難しそうな問題は15分ほど手が止まったら答えを見るようにしました。	35%	10月とほぼ同じです。秋の間に1周目を終えるつもりが半分も出来ていなかったのペースアップしました。『25ヵ年』(教学社)Dレベルの本番でも解けないだろうと思う問題は解答をさらっと読むぐらいにしました。	30%	11月とほぼ同じです。現状把握のためにセンターの過去問を1年分解きました。	30%	『25ヵ年』(教学社)を続けつつセンター対策を始めました。東進のセンター試験本番レベル模試の過去問をしましたが、量が多めなので本番余裕を持つのにちょうど良かったです。	25%	12月とほぼ同じです。	30%	『25ヵ年』(教学社)の1周目を終わらせました。2周目は本番で絶対取りたい難易度と分野にしぼって繰り返し解きました。	25%	『25ヵ年』(教学社)の残りをやりました。直前は東大本番レベル模試の過去問で時間の確認をしました。
化学 (44)	35%	『化学重要問題集』(数研出版)の3周目をやりました。	35%	『化学重要問題集』(数研出版)の3周目が11月初めに終わったので、『25ヵ年』(教学社)を始めました。大問ごとに時間を計って解き、分からないところは『化学の新研究』(三省堂)でチェックしていました。	35%	引き続き『25ヵ年』(教学社)を解きました。	25%	模試の過去問を解きました。細かい知識がボロボロ抜けていることに気が付き慌てて覚え直しました。もっと早く知識の確認を始めればよかったです。	30%	東進のセンター試験本番レベル模試の過去問を5回分解きました。	25%	『25ヵ年』(教学社)の残りを解きました。	30%	『25ヵ年』(教学社)が終わってから東大本番レベル模試の過去問を解きましたが、出来が悪く25点取れればいやという気持ちで本番に臨みました。
生物 (40)	10%	夏までと同様に、疑問点を探しながら通学時に教科書を読んでいました。	10%	10月とほぼ同じです。	15%	10月とほぼ同じです。細かい暗記事項を覚え始めました。	15%	左に同じです。東大特進のテキストで問題演習をしました。	15%	暗記事項のチェックをしました。東進のセンター試験本番レベル模試の過去問を5回分解きました。	15%	教科書を読んでいました。	20%	教科書を読んだほか、東大本番レベル模試の過去問を解きました。

センター	【センター:二次】	0.3 : 9.7	【センター:二次】	0.3 : 9.7	【センター:二次】	2 : 8	【センター:二次】	7 : 3	【センター:二次】	9 : 1
------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類

理科二類

二次 科目	5科目 に対する学習 割合	10月	5科目 に対する学習 割合	11月	5科目 に対する学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する学習 割合	2月
英語 (99)	10%	夏までに『DUO3.0』(ICP)と『鉄壁』(鉄緑会)を一通り終わらせていたので、それを通学中にさらっていました。家で暇な時間にハリーポッターの原書を読んでいました。	10%	ほぼ10月と変わりませんでした。	10%	ほぼ10月と変わりませんでした。	10%	ほぼ10月と変わりませんでした。	5%	ほぼ10月と変わりませんでした。センター対策は特にしませんでした。	10%	過去問を時間を計りながら7年分解きました。記号問題は自分で採点し、記述問題は解答の道筋や解答例を丁寧に確認しました。	10%	今まで解いた過去問で間違えたところを復習しました。単語帳も定期的に見直していました。
国語 (43)	10%	現代文は東大特進の林修先生の授業で学習しました。古文は学校で週1の単語テストがあったので、それに合わせて単語帳で勉強しました。漢文は何もしていませんでした。	10%	ほぼ10月と変わりませんでした。	10%	ほぼ10月と変わりませんでした。林修先生の現代文の授業後に添削されて返ってきた自分の答案を復習していました。	10%	ほぼ10月と変わりませんでした。	10%	古典のセンター過去問を15年分解きました。現代文も、過去15年分で解いていなかったものを解きました。	10%	古典の東大の過去問を7年分解き、現代文は林修先生の授業の復習をしました。	10%	今までに解いた問題の総復習をしました。また、漢文のまぎらわしい句形や語句を二次試験前日にノートにまとめました。
数学 (102)	40%	夏休みに解いた際に間違えた問題をノートにまとめ、それをひたすら解き直していました。一度解けた問題も一週間ほどあけてもう一度解き、3回連続で解けるまで繰り返ししました。また、『25か年』(教学社)で好きな分野や得意な分野の問題を解き始めました。	40%	ほぼ10月と変わりませんでした。	30%	ほぼ10月と変わりませんでした。	30%	解き直しと並行して、センター対策を始めました。数ⅠAと数ⅡBを合わせて80分で解くというのを、過去問25年分で行いました。	25%	左に同じです。	30%	時間を計って二次試験の過去問を7年分解きました。そこで間違えた問題も解き直しのノートに加え、順に解き直しました。	30%	ほぼ左に同じです。直前期は東進の東大本番レベル模試の過去問を解きました。
化学 (50)	20%	『化学重要問題集』(数研出版)の3周目をしていました。間違えた問題は1週間ほどあけて解き直しました。『25か年』(教学社)で理論・無機の分野を解き始めました。	20%	『化学重要問題集』(数研出版)の解き直しを続けていました。また、『25か年』(教学社)で有機分野の手が出せそうな問題を選んで解いていました。	25%	ほぼ左に同じです。	25%	『化学重要問題集』(数研出版)の解き直しに加えて、センターの過去問を解き始めました。12月20日頃から始め、25年分解きました。	30%	左に同じです。	25%	二次試験の過去問を解き始めました。生物と合わせて150分で解き、その日のうちに自己採点・復習を行いました。	25%	ほぼ左に同じです。直前期には東大本番レベル模試の過去問を生物と一緒に解きました。2月中旬からは今までに間違えた問題の復習を行い、前日は無機や有機の暗記事項をノートにまとめました。
生物 (33)	20%	基本的に学校の授業を真面目に受けていました。また、東大特進の田部眞哉先生の授業・質問会に参加し、その復習を丁寧にっていました。さらに通学の時間を使って生物基礎・生物の教科書を読み込みました。	20%	ほぼ左に同じです。教科書は何度も読み返しました。	25%	ほぼ10月と変わりませんでした。	25%	教科書を読むことと並行して、センターの過去問を解き始めました。化学と同時期に始めて、25年分解きました。	30%	左に同じです。	25%	二次試験の過去問を解き始めました。化学と合わせて150分で解き、その日のうちに自己採点・復習を行いました。通学中には教科書を読んでいます。	25%	ほぼ左に同じです。直前期には東大本番レベル模試の過去問を解きました。その後今までに間違えた問題の復習、間違えやすい分野のまとめを行いました。教科書も毎日読むようにしていました。

センター	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	2 : 8	【センター：二次】	4 : 6	【センター：二次】	6 : 4
------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類

理科三類

二次 科目	5科目 に対する学習 割合	10月	5科目 に対する学習 割合	11月	5科目 に対する学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する学習 割合	2月
英語 (95)	5%	英語はこの時期に既にほぼ完成して いました。英語は勉強してもあまり大 きく点数が上がることはないと思っ たので、伸びしろの多い理科をメイン でやっていました。といっても全く英 語に触れない時間が続くと勤が鈍る ので、毎日リスニングだけは30分程 度していました。また、塾で週に1度 東大の半セットをしていました。	5%	勉強方針は10月と同じです。10月 と同様、週に1度は英語の演習をし ていました。この演習は東大や京大の 過去問を年度ごとではなくバラバラに まとめたものです。リスニングも10 月同様、毎日続けていました。教材 はBBC 6minutes Englishです。こ れはスマホから無料で聞くことが出 来ます。読まれるスピード、文章のレ ベルともに、東大レベルで、内容も おもしろいので、おすすめです。	5%	勉強方針、使っていた教材は10、11 月と同じです。	5%	単語に不安を覚えたため、『鉄緑会 東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出 版)を再び1周しました。リスニング 教材としては、BBC以外にも『キム タツの東大英語リスニング』(アルク) をやりました。	5%	センター対策は過去問の追試を5年分 程度やっただけです。センター模試 を早いうちから定期的に受けていたお かげで、特別な対策はしていません。	15%	過去問は塾でやっていたので、模試 の過去問を115分で解いていました。 毎回の模試の過去問の演習を本番の つもりでやっていました。	15%	リスニングと同じくらいの比重を占 める英作文をメインで勉強していま した。具体的には、使えそうな表現を ノートにピックアップしていきまし た。
国語 (54)	5%	古文単語と漢文句形を定期的に見直 してました。使っていた教材は『入試 古文単語ベストセレクション325』(尚 文出版)と『漢文句形とキーワード』(Z 会出版)です。どちらも入試直前まで 何周もしました。	5%	10月と同様、古漢の勉強を定期的 にしています。模試対策として、『得 点奪取』(河合出版)をたまにやって います。問題形式、難易度が東大に似 ていて、解説も詳しいので、たみに なりました。	5%	センター国語の過去問を1日1年必 ずやると決めてやりました。赤本に 載っている1990年からののですが、 昔の過去問は量が今の半分くらい です。	20%	センター国語の過去問を毎日1、2年 分消費しました。古漢で出てきた単 語はノートにまとめていました。	50%	僕の場合、センターは国語の出来次 第といったもよいくらいでしたので、 毎日過去問や模試の過去問を75分 でやりました。最終的に9割前後で安 定するようになったのですが、本番 では大失敗し、努力が全く報われま せんでした。	0%	センター後、国語に対するモチベー ションがかなり下がってしまったので、 全く勉強していません。	10%	『鉄緑会東大古典問題集』(角川学芸 出版)で古漢の過去問10年分を完 了にしました。古文単語や漢文句形 を最終確認しました。
数学 (120)	15%	数学は週に1度塾で150分の演習を していました。また、過去問を『鉄緑 会東大数学問題集(1980～2009)』(角 川学芸出版)で古い年度からやって いました。90年代の過去問は難しい 問題が多いです。	20%	10月と同じです。模試の過去問をたま にやっていました。	15%	10月と同じです。点数に波がある人 より毎回コンスタントに80～90点 取れる人の方が強いですが、演習で は、取れる問題を絶対に落とさない ことを意識していました。	10%	過去問をだいたい終えたので、模 試の過去問を主にやっていました。	15%	センター対策は、データの分析を少 し確認しただけです。150分の演習 を定期的にしなないと、勤が鈍る ので、センター直前まで演習をして いました。	45%	最終的に最も合否に影響するのは、 数学だと思います。センター後は 数学メインでやりました。塾で使 っていた教材を使って全範囲の復 習をしました。特に複素数は絶対 対出ると思ったので、あらゆる タイプの問題をやりました。	35%	模試の過去問を使って150分の演 習をして、最終調整しました。数 学は最終的にどんな問題が出て も怖くない状態にまでもって いったのですが、本番で今までの 勉強がほとんど無駄に終わ ってしまい残念でした。
物理 (52)	35%	物理はほぼ完成していたのですが、 苑田尚之先生の教材などを復習 して、基本事項の完全理解を図 りました。使っていた問題集は『 難問題の系統とその解き方物理』 (ニュートンプレス)の演習問題 です。骨のある面白い問題が 数多くついています。	35%	『難問題の系統とその解き方物理』 (ニュートンプレス)以外にも、東 大模試の過去問を化学とセット で150分でやりました。(東大の 過去問は『25か年』(教学社)を すでに終えています。)	40%	11月と同じです。	30%	11月と同じです。	15%	センターの対策は特にしていません。 二次対策はセンター直前も続け ました。	20%	『難問題の系統とその解き方物理』 (ニュートンプレス)に飽きたので、 『新物理入門問題演習』(駿台文庫) をやりました。問題数は難系より 少ないですが、質は『難問題の 系統とその解き方物理』(ニュ ートンプレス)より高いと感じ ました。	20%	東大に出そうなテーマをノートに まとめてました。また、原子分 野が手薄だったので、いろん なパターンの問題をやりました。
化学 (56)	40%	化学は既に全範囲完成していたので すが、解くスピードが遅かったの で、塾の教材でひたすら東大の3 問セット演習をしました。また、 この時期から東大に出そうな テーマやミスしやすい所などを まとめたノートを作り始めまし た。化学は計算ミスをはじめと する細かいケアルミスで大きく 点数が変わってくるので、自 分のミスしやすいポイントを 把握しておくことは大事です。	35%	10月と同じです。模試の過去問を物 理とセットでやっていました。また、 『新理系の化学問題100選』(駿 台文庫)は難しめの問題が多 くてためになりました。	35%	11月と同じです。	35%	11月と同じです。	15%	センターの対策は特にしていません。 二次対策はセンター直前も続け ました。	20%	自分でまとめたノートを頻りに見 返していました。模試の過去問 を引き続きやっていました。	20%	化学はケアルミスさえしなければ、 難しい問題が解けなくても50 点以上取れます。なので、直 前期の演習では難問を解き きるよりもケアルミスをしな いことを意識してました。(本 番では1問凡ミスをしてしま いました。)

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	2 : 8	【センター：二次】	6 : 4
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
理科三類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (90)	5%	あまりやっていませんでした。リスニングだけは毎日(これ以降もずっと)聞いていました。	5%	最低限の演習しかしていませんでした。他はほとんどやっていませんでした。	10%	リスニングに加え、英作文で使える表現をストックしていったり、単語の最終確認を行っていました。	5%	引き続き最終確認を行っていました。	5%	ほとんどやっていませんでした。	15%	リスニング、英作文の対策を主にやりました。東大の演習もたまにやってみました。	10%	引き続き演習をしていました。
国語 (46)	10%	センター直前に単語面で焦りたくなかったので、このころからコツコツ単語を覚えていきました。気になる単語はメモしておいていつでも見返せるようにしました。	5%	単語、句形はコツコツ覚えていきました。他はほとんどやっていませんでした。	5%	引き続き暗記はしていました。	20%	二次の勉強に加え、センターの過去問を少しずつ始めていきました。	40%	センターの過去問、模試の過去問などひたすらセンター型の演習を積んでいって国語に対する不安を消していくことができました。大量の演習をしたにもかかわらず、本番は大失敗してしまいました。センターの勉強はほどほどにしておいた方がいいかもしれません。	5%	センターの失敗のせいで、国語の勉強に対するモチベーションが完全に消え失せてしまいました。	15%	単語、句形など最低限のことは確認していきました。
数学 (120)	5%	これ以上やっても数学の力は上がらないのではないかと甘い考えがあったため、数学は塾での演習以外あまり触れていませんでした。	20%	10月の模試の数学でとんでもない点数を取ってしまい、これまでの勉強を反省しました。やはり数学は演習量があるものということに気づき、色々な問題にあたることにしました。解けなかった問題は考え方を頭に入れておくとともに、次に類題が出たら解けるのかどうかということを意識しました。	15%	『鉄線会東大数学問題集』(角川学芸出版)で東大の過去問を丁寧にごこなしていきま。模試の過去問も時間を短縮してやっていました。		過去問や模試の問題で演習を積みま。複素数が不安になってきたので『大学への数学 新数学演習』(東京出版)などで演習を積みま。	10%	引き続き過去問を解いていきました。複素数や整数などの問題は得意だという意識が無かったので念入りにやっておきました。センター対策はあまりやる必要は無いと思います。	30%	どんな問題が来ていようにかくいるんな問題にあたりました。これまでやった問題の復習もしていきま。	25%	最終確認を行いました。あとは本番で失敗をしないことを祈るしかありませんでした。
物理 (53)	40%	『難問題の系統とその解き方物理』(ニュートンプレス)はすでに何周か終わっていましたが、時々見受けられる考えさせられる問題については紙にまとめておいて、類題が出たときは瞬間的に解ける状態を目指しました。またこのころから本格的に理科150分の演習を模試の過去問を使ってやっていました。	40%	『難問題の系統とその解き方物理』(ニュートンプレス)に飽きたので、『新物理入門問題演習』(駿台文庫)を始めることにしました。物理の本質を突いた問題が多く見受けられました。模試の演習は130～140分で時間を短縮してやりました。	35%	引き続き演習をしていました。適宜これまでやった問題の復習をしました。	30%	引き続きテスト演習をしていました。それに加え、東大が好むテーマで手薄になりがちなもの(二体問題、干渉、Kepler問題、変圧器など)を紙に書いてまとめ、完璧な状態にまで仕上げました。	25%	センターボケが怖かったので、引き続きテスト演習をしていました。	25%	最終確認も兼ねて、テスト演習を続けました。	25%	ひたすら練習をしました。重要テーマをまとめた紙の見直しもしました。
化学 (55)	40%	『新理系の化学問題100選』(駿台文庫)を使って演習を積みま。東大の問題が多く、またいかにも出題されそうなテーマも多くあったりして、大変立ちました。また暇なときは『化学の新研究』(三省堂)を読みこみ、気になるテーマをノートにまとめていきました。このノートは後々重宝しました。	30%	模試の過去問などで大量の演習を積みま。問題に対する瞬発力と計算スピードの向上を意識してやっています。	35%	引き続き演習をしていました。適宜これまでやった問題の復習をしました。	30%	引き続きテスト演習をしていました。	20%	センターボケが怖かったので、引き続きテスト演習をしていました。	25%	最終確認も兼ねて、テスト演習を続けました。	25%	ひたすら演習をしました。まとめノートの見直しもしていきました。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	1 : 9	【センター：二次】	5 : 5
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------

科 類
理科三類

二次 科目	5科目 に対する学習 割合	10月	5科目 に対する学習 割合	11月	5科目 に対する学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する学習 割合	2月
英語 (94)	30%	単語力のために『東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)を100%自分のものにする。研究社の『英文解釈教室』(研究社)を全文読解し、和訳(精読)の力をつけることに集中しました。	30%	概ね左に同じですが、秋の東大模試に向けて過去問を解いて東大英語特有の各大問に対するアプローチの仕方、時間配分の取りかたに関して戦略を立てました。	30%	この時点で基礎はもうほぼほぼ出来ていると思っていたので、あとは各大問に慣れてスピードと精度をあげるだけ、と思って問題演習を中心しました(残った模試の過去問等をやりました)。	40%	左に加え、リスニングの対策として『キムタツの東大英語リスニング』(アルク)を始めました。取り組み方は問題を解く→語まらずにシャドーイングできるまで何度も音読、という感じでした。また、それ以外にも今まで触れた英文をしつこく音読しました。	5%	半月ほど二次対策の英語は止めて、センター試験の1番と2番のAだけを10分くらいで解いていました。	40%	12月(冬休みの)頃と同様の勉強をし、一気に勘を取り戻せるよう奮闘しました。	40%	残っていた過去問演習をし、失敗しないために時間配分をしっかりと守ることを意識しました。
国語 (53)	0%	何もませんでした(真似しないでください)。	0%	左に同じです。	15%	センター試験に向け少しずつ過去問を解いたり模試の問題を解いたりして行きました。また、基礎が疎かになってはいけないと思い古漢の学校の教材を復習し始めましたが、左にあるようにだいたいブランクがあったので大変でした。	20%	センター試験の過去問 or 模試をひたすら解き、その過程で自分のできていない所、無かった知識(思考回路)をしっかり分析して次への糧にすることを強く意識して勉強しました。	65%	左に同じですが、頻度を大きく上げました。	15%	過去に受講した林修先生の講義で配られたプリントをひたすら読み返し、現代文に対して正しい思考回路をして簡潔な解答を組めるように過去問演習しました。古漢については、センター試験のお陰でだいぶ力がついたので、大きな勘違いをしないようにだけ気をつけて答えを短くまとめることに気を配りました。	15%	左に同じです。
数学 (106)	20%	時々6問セット(主に模試の過去問)を1問23.5分ペースで解きました。	20%	左に同じです。	15%	左に同じですが、少し頻度を減らし英語に時間を回しました。	0%	センター試験の地理・国語、そして二次試験の英語を優先すべきだと思ったので、数学は一旦やめました。	0%	左に同じです。	15%	残しておいた過去問を解きました。とにかく最初の2問を早く(40分弱で)完答することが大事だと思ったので、最初に簡単なものを見分けること、嵌らないことに特に注意しました。	15%	左に同じです。
物理 (52)	25%	ひたすら問題演習しました。時々大問まるごと得点を落としてしまうことがあったので、その時は自分の理解に誤りがないか、表面的にしか分かっていないのではないか、ということを徹底的に分析しました。	25%	左に同じです。	20%	左に同じですが、少し頻度を減らし英語に時間を回しました。	20%	1日に1セット解き、復習で実力をつけられるようにそこでも頭をしっかりと使うことを意識しました。	15%	左に同じですが、頻度を少し減らしました。	15%	残しておいた過去問を解きました。解けないものはほとんどないはずなので、取れる点をすべて回収することを強く意識しました。	15%	左に同じです。
化学 (53)	25%	ひたすら問題演習しました。時々知識が抜けていて点を落としてしまいましたがその都度しっかり自分のものになりました。また、時々ある、時間を異常に食う問題をしっかりと敬遠する癖を付けました。	25%	左に同じです。	20%	左に同じですが、少し頻度を減らし英語に時間を回しました。	20%	1日に1セット解き、復習で実力をつけられるようにそこでも頭をしっかりと使うことを意識しました。	15%	左に同じですが、頻度を少し減らしました。	15%	残しておいた過去問を解きました。解けないものはほとんどないはずなので、取れる点をすべて回収することを強く意識しました。	15%	左に同じです。

センター	【センター：二次】	0 : 10	【センター：二次】	0.5 : 9.5	【センター：二次】	5 : 5	【センター：二次】	5 : 5	【センター：二次】	9 : 1
------	-----------	--------	-----------	-----------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科 類

理科三類

二次 科目	5科目 に対する学習 割合	10月	5科目 に対する学習 割合	11月	5科目 に対する学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する学習 割合	2月
英語 (81)	20%	英語は他の科目よりも早く過去問演習を始めました。直近の分は残しておき、昔の過去問を大問ごとに目標時間を決めて解きました。また、文法事項や単語の復習も10月に行いました。	20%	秋の東大模試に向けて、セットで演習することが増えました。すきま時間に単語を見直しました。	20%	大問ごとに過去問を解くことが多かったです。リスニングが苦手だったので、リスニングの頻度を上げました。	15%	勘が鈍らない程度に英語に触れるようにしていました。	15%	昔の過去問を解いたり、センター試験に向けて発音問題の勉強をしたりしました。	20%	過去問演習と復習の繰り返しでした。リスニングを毎日解くようになりました。	20%	左に同じです。
国語 (44)	5%	まだあまり手をつけていませんでした。空き時間などに古文の単語や漢文の句形を覚えていきました。	10%	模試があるので、10月までよりウェイトを置いて単語や句形の復習をしました。過去問も数年分解きました。	20%	東大やセンター試験の過去問など、問題演習をすることも増えました。文法が大切だと感じたので、助動詞の活用なども勉強しました。	30%	センター試験に向けて、単語や句法、文法の暗記をしていました。	30%	左に同じです。	20%	過去問演習がメインでした。国語は特に復習を念入りに行いました。現代文は林修先生の授業を復習しました。	20%	左に同じです。
数学 (104)	15%	150分6問のセット演習をメインにしていました。演習をした際に解けなかった分野の問題や、最近触っていないと感じる分野の問題を問題集から選んで解きました。	20%	10月とほぼ同じです。	20%	昔の過去問は最近のものより難しいものが多いので、この時期は力をつけるために昔の過去問を解いていました。	15%	左に同じです。	15%	引き続きセット演習をしていました。	20%	過去問演習と復習の繰り返しでした。	20%	過去問演習に加えて、他大学の過去問も解きました(東京工業大学など)。
物理 (47)	30%	セット演習を始めました。苦手な分野は『難問題の系統とその解き方物理』(ニュートンプレス)などの問題集を使って演習しました。	25%	引き続きセット演習をしました。	20%	昔の過去問を時間を計らずに問題集として解いていました。	20%	左に同じです。	20%	昔の過去問を解いたり、センター試験に向けて教科書を読んだりしました。	20%	過去問演習と復習の繰り返しでした。	20%	過去問演習に加えて、他大学の過去問も解きました(京都大学など)。
化学 (48)	30%	物理と同様、セット演習を始めました。また、苦手意識のあるものから理論分野の復習をしました。	25%	引き続きセット演習をしました。	20%	物理と同じです。	20%	左に同じです。	20%	物理と同じです。	20%	過去問演習と復習の繰り返しでした。	20%	過去問演習に加えて、他大学の過去問も解きました(京都大学、東北大学など)。

センター	【センター：二次】	10 : 0	【センター：二次】	10 : 0	【センター：二次】	9 : 1	【センター：二次】	6 : 4	【センター：二次】	4 : 6
------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------

科類
理科三類

二次 科目	5科目 に対する 学習 割合	10月	5科目 に対する 学習 割合	11月	5科目 に対する 学習 割合	12月 (～冬休み前)	5科目 に対する 学習 割合	12月 (冬休み)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験前)	5科目 に対する 学習 割合	1月 (センター試験後)	5科目 に対する 学習 割合	2月
英語 (74)	30%	要約、英作文、リスニングをメインに対策しました。要約と英作文は東大の過去問を直近5年分残して、片っ端からやりました。学校の先生に添削してもらいました。リスニングは、TEDtalkのアプリを用いて練習しました。同じ短めのスピーチを何周も聞きました。シャドーイングなども練習して、一つも単語を聞き漏らさないぐらい聞き込みました。	30%	先月と同様です。	20%	要約対策をひとまずやめて、段落整序の対策をしました。英作文、リスニングについては続行しました。センター試験が近付いてきたので文法も確認しました。『Next Stage』(桐原書店)を高1のころからやっていたので、再度それを1周しました。	20%	ほぼ左に同じです。	5%	センターの国語と社会に追われていて、全然勉強できませんでした。	5%	英作文がセンターボケの影響をひどく受けていたので、再び練習しました。リスニングもTEDtalkアプリを使って練習しました。	20%	時間を計って直近5年分の過去問を演習しました。英作文は学校の先生からいただいた「英作文のお題集」を用いて、短時間で書く練習を毎日行いました。リスニングはTEDを使って練習すると同時に、『キムタツの東大英語リスニング』(アルク)を使って実際に問題を解く練習もしました。
国語 (31)	5%	林修先生の授業を受けました。古典は何もしてませんでした。	5%	林修先生の授業を受けました。古文については何もしていません。漢文は『漢文 一問一答』(東進ブックス)を通学中に読み込んで、句法、重要漢字などを頭に入れました。	20%	林修先生の授業を受けました。古文については単語帳を見返しました。漢文は『漢文 一問一答』(東進ブックス)を通学中に読み込んで、句法、重要漢字などを頭に入れました。	30%	センター過去問を2日に1回のペースで進めました。古文単語を詰めました。	70%	センター過去問を毎日やりました。古文単語を詰めました。	10%	現代文は林修先生の夏期集中講座で扱った年度に集中して、復習しました。古文漢文は東大型の過去問を5年分ほどやりました。	10%	直近3年分の過去問を用いて、時間配分を確認しました。国語に時間を割けたところで、こっからあまり伸びることはないだろうと思い、他の科目に時間をあてました。
数学 (98)	15%	週末に過去問を時間を計ってやっていました。学校の授業で扱った問題もそれなりに難易度が高かったので復習しました。苦手な分野が見つかり次第、基礎固め用の問題集に立ち返って復習していました(整数→「マスターオブ整数」(東京出版) 確率→「ハッと目覚める確率」(東京出版))。	15%	10月と同様です。	15%	10月と同様です。	15%	10月と同様です。	5%	センターの国語社会に追われていて、全然勉強できませんでした。センター数学は東進のセンター試験本番レベル模試の過去問を用いて5回ほど練習しました(東進のセンター試験本番レベル模試が一番難しく作られているように感じました)。	20%	残っていた東大の過去問を消費しました。複素数、二次曲線が苦手だったので、急遽『ハイレベル理系数学』(河合出版)を用いて、その分野のみ演習しました。	30%	過去問の直近10年分のみ2科目3周目をやりました。東大模試の過去問も6回ほどやりました。『大学への数学 1対1対応の演習』(東京出版)を見返して、忘れていた基礎事項がないかどうかの最終確認を行いました。
物理 (53)	30%	初めて、苑田尚之先生の授業をこの時期に受けました。基礎が完全には定着していないことを痛感したので、苑田尚之先生が今まで行った授業をt-POD受講で申込み、一つずつ演じていきました(12月前半にかけて)。過去問演習も始めましたが、2年分しかやっていません。物理と化学を同時にやりました。基礎固めを優先しました。特に問題集などはやらずに、東大特進のテキストのみやりました。	30%	ほぼ左に同じです。	25%	ほぼ左に同じです。過去問演習の頻度を上げました。	25%	ほぼ左に同じです。原子分野がセンターレベルでも間違えることがあるほど身につけていなかったため、原子分野にもしっかり取り組みました。	10%	センターの国語社会に追われていて、全然勉強できませんでした。一度教科書を読み返しました。知識面の穴を潰すためです。電磁気、波動、熱力学については意外と穴が多かったので、見返しておいてよかったです。二次試験対策は、3日に1度ぐらい過去問から大問ひとつやる程度でした。	25%	苑田尚之先生の授業の不安なところを再度t-POD受講したり、東大特進のテキストの問題に戻って、確認しました。また、化学と合わせて、過去問演習も行いました。	25%	ほぼ左に同じです。直近10年分は2回目の演習も行いました。
化学 (53)	20%	まだ高分子分野が未習だったため、定期試験に合わせて高分子分野を固めました。また『化学の新演習』(三省堂)を使って、理論と有機を演習しました。過去問演習も始めましたが、2年分しかやっていません。物理と化学を同時にやりました。防衛医大を受験したのですが、それに備えて無機有機の知識の確認、防衛医大の過去問(3年分)をやりました。(防衛医大は10月末に試験がありました)	20%	ほぼ左に同じです。	20%	ほぼ左に同じです。過去問演習の頻度を上げました。	10%	あまり、演習問題などは解かず知識の確認をすることになりました。『化学の新研究』(三省堂)を速読して、知識に漏れがないかを確認しました。	10%	センターの国語社会に追われていて、全然勉強できませんでした。あまり演習問題などは解かず知識の確認をすることになりました。『化学の新研究』(三省堂)を速読して、知識に漏れがないかを確認しました。	15%	物理と合わせて、過去問演習をしました。曖昧で不安なところがあれば、必ず『化学の新研究』(三省堂)を見返して確認しました。	15%	ほぼ左に同じです。直近10年分は2回目の演習も行いました。『化学重要問題集』(数研出版)を用いて、無機有機の知識の確認も行いました。

センター	【センター:二次】	0 : 10	【センター:二次】	1 : 9	【センター:二次】	3 : 7	【センター:二次】	6 : 4	【センター:二次】	10 : 0
------	-----------	--------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	-------	-----------	--------